

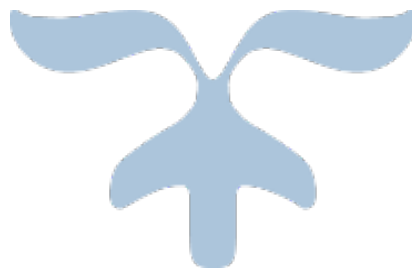
SYLLABUS

令和4年度

高大連携授業

前期授業計画書

(科目概要)



大学コンソーシアムあきた

目 次

1	英語の楽しさ再発見	(秋田大学)	1
2	体験活動を通して学ぼう！算数・数学	(秋田大学)	2
3	人文科学国際文化入門	(秋田大学)	3
4	地域資源と地域活性化	(秋田大学)	4
5	身近な有機化学・有機化合物	(秋田大学)	5
6	高校生のための応用化学	(秋田大学)	6
7	高校生のための材料理工学への誘い	(秋田大学)	7
8	再生可能エネルギー入門	(秋田大学)	8
9	高校生のための最新人間情報学	(秋田大学)	9
10	ネットワーク技術とセキュリティ	(秋田大学)	10
11	3Dモデリングを学ぼう in 秋田	(秋田県立大学)	11
12	3Dモデリングを学ぼう in 本荘	(秋田県立大学)	12
13	C言語プログラミング	(秋田県立大学)	13
14	プログラミング言語 Python 入門	(秋田県立大学)	14
15	コンピュータ, 役に立ちます	(秋田県立大学)	15
16	ドローンを作って飛ばそう	(秋田県立大学)	16
17	ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	(秋田県立大学)	17
18	リスクで分かる判断と違いの心理	(秋田県立大学)	18
19	宇宙プラズマ科学入門	(秋田県立大学)	19
20	高校数学から大学への数学へ	(秋田県立大学)	20

2 1	「女性の街づくり」マーケティング	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 1
2 2	日本人のための英会話基礎的練習	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 2
2 3	アグリビジネスの新しいカタチ	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 3
2 4	おもしろ生物学 ここだけの話	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 4
2 5	バイオテクノロジーへの招待	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 5
2 6	世界のために生物生産科学で何を学ぶ？	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 6
2 7	生物環境科学への招待	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 7
2 8	国際教養学への招待	(国際教養大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 8
2 9	地域振興と民俗文化との関わり	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	2 9
3 0	外国語と文化で学ぶ国際ビジネス	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 0
3 1	なぜ学校は必要なのか？	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 1
3 2	「自分・私」について「考えて」みよう	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 2
3 3	日商簿記3級に合格しよう	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 3
3 4	世界史と法学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 4
3 5	国際関係論から見るSDGs	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 5
3 6	社会政策の基礎	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 6
3 7	心理学からみるコミュニケーション	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 7
3 8	大学生が株式会社を作ってみた！	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 8
3 9	明日の私はもっといい	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	3 9
4 0	看護・介護のコミュニケーション学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 0

4 1	旅 エアラインビジネス	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 1
4 2	文学でたどる世界遺産の旅	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 2
4 3	『鬼滅の刃』の世界観	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 3
4 4	ディズニーランドから学ぶアフターコロナの観光学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 4
4 5	ジブリアニメの舞台からみたSDGsの観光学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 5
4 6	ようこそ看護学の世界へ	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 6
4 7	医療と福祉の探究	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 7
4 8	高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 8
4 9	絵であそぶ 絵でまなぶ	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	4 9
5 0	心理学からみる・読む美術	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 0
5 1	音と映像を操作するメディアアート	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 1
5 2	作ってたのしい・使ってうれしい漆椀！	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 2
5 3	デザインのマジック	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 3
5 4	建築の<かたち>	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 4
5 5	楽しいCGプログラミング	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 5
5 6	ようこそ保育の道へ	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 6
5 7	食品と栄養の基礎知識	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 7
5 8	身近な社会福祉の問題を考えてみよう	(日本赤十字秋田短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 8
5 9	楽しく学べる保育科入門	(聖園学園短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	5 9
6 0	建物スケッチパース入門	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	6 0

6 1	プログラムによるロボット制御	(秋田職業能力開発短期大学校大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 1
6 2	金属加工入門	(秋田職業能力開発短期大学校大学)	・ ・ ・ ・ ・	6 2

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学			
科目名 (サブタイトル)	[1] 英語の楽しさ再発見 (英語を様々な角度から研究する)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 准教授 若有 保彦 (計6名)			
授業概要	大学の英語学習では、英語力を伸ばすだけでなく、英語を様々な角度から研究します。本講座では、英語という言語の仕組みや英語の文化的背景、英語学習の効果的な方法を秋田大学の英語担当教員と一緒に考えていきます。					
授業方法と留意点	担当者の話を聞くだけでなく、視聴覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともあります。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でもなくともかまいません。英語が苦手という人にとっても、新しい視点から英語を見直す機会になると期待します。					
授 業 計 画						
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります						
< 6月 8日 (水) 17:30~19:00 > 教授 佐々木 雅子						
第1講：「第二言語習得—英語学習へのヒント」 母語でない外国語習得（第二言語習得）はどのようにして起こるのか、どのようにしたら習得や学習がよりよく進むのか。現在までにわかっていることを紹介します。英語学習のヒントにして下さい。						
< 6月15日 (水) 17:30~19:00 > 教授 星 宏人						
第2講：「英語研究と英語学習」 受講生の英語学習のために、英語学、言語学、言語哲学の研究成果を紹介する。						
< 6月22日 (水) 17:30~19:00 > 准教授 エイドリアン・パターソン						
第3講：「英語発達史」 This class is about where English came from, how it spread to so many parts of the world, and how it changed along the way. By studying the history of English, you can get a better cultural understanding of English speaking peoples, and why there are so many different kinds of English now.						
< 6月29日 (水) 17:30~19:00 > 講師 畠山 研						
第4講：「『90分で名短編!』 英語圏文学入門」 英語がもっと楽しくなる文学の基礎知識を紹介します。有名な短編小説を通じて、いっしょに英語圏の文学に親しみましょう。						
< 7月 6日 (水) 17:30~19:00 > 講師 平良 一史						
第5講：「英語と異文化理解」 英語を第一言語とする人々やそうでない英語話者の文化的背景に関心を向けることを目的としています。多様な人々と英語で交流することで文化の学びが促進されるという観点から、英語の楽しさを考えていきます。						
< 7月13日 (水) 17:30~19:00 > 准教授 若有 保彦						
第6講：「英語学習の目的と効果的な英語学習法」 英語学習の目的及び効果的な英語学習法について、他校の生徒との話し合いも交えながら一緒に考えていきます。						
その他						
テキスト	プリントを配布します。					
参考文献	授業の中で紹介します。					
関連科目	英語					
開講日時	6/8 (水)	6/15 (水)	6/22 (水)	6/29 (水)	7/6 (水)	7/13 (水)
	17:30~19:00					
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)					
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp					

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学
科目名 (サブタイトル)	[2] 体験活動を通して学ぼう！算数・数学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 講師 加藤 慎一 (計1名)
授業概要	ノートの上で問題を解決することだけが算数・数学を学ぶことではありません。身体などを使った体験活動を通して算数・数学を学ぶたのしさを実感しながら、「算数・数学を学ぶ」とは何かについて考えてみましょう。		
授業方法 と留意点	高校生のみなさんが主体的に考えることを大切にします。スライドや黒板を使い、体験的な活動を取り入れながら授業を進めていきます。必要に応じて、資料を配布します。		
授 業 計 画			
【募集定員人数12名】先着順で募集を締め切ります			
<6月14日(火) 17:30~19:00>			
第1講：「体験活動を通して学ぼう！算数・数学①図形編」 身体などを使った体験活動を通して図形を学ぶたのしさを実感しながら、「図形を学ぶ」とは何かについて考えます。			
<6月21日(火) 17:30~19:00>			
第2講：「体験活動を通して学ぼう！算数・数学②関数編」 身体などを使った体験活動を通して関数を学ぶたのしさを実感しながら、「関数を学ぶ」とは何かについて考えます。			
<6月28日(火) 17:30~19:00>			
第3講：「体験活動を通して学ぼう！算数・数学③統計編」 身体などを使った体験活動を通して統計を学ぶたのしさを実感しながら、「統計を学ぶ」とは何かについて考えます。			
その他			
テキスト	なし		
参考文献	適宜、授業内で紹介します。		
関連科目	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学活用 (※これらの科目を学習していなくても取り組める内容です)		
開講日時	6/14(火)	6/21(火)	6/28(火)
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学	
科目名 (サブタイトル)	[3] 人文科学国際文化入門 (フランスを中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 辻野 稔哉 (計1名)	
授業概要	本授業では、簡単なフランス語会話に触れることから始め、フランスを主な例として、人文科学の学びについて解説します。大学の授業の雰囲気を味わいながら、小説や映画、絵画といった広い人文科学の世界に最初の一步を踏み出しましょう。			
授業方法 と留意点	毎回、プリントや資料を配付して授業を進めていきます。			
授 業 計 画				
【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります				
< 6月15日(水) 17:30~19:00 >				
第1講: 「フランス語を喋ってみよう！」				
難しいことは後回し。とにかくフランス語を聞いて、まねて、喋ってみよう！英語と似ているようで、英語とはやっぱり違うフランス語に触れてみよう。				
< 6月22日(水) 17:30~19:00 >				
第2講: 「人文科学は面白い！」				
大学ではどんなことが学べるのか、実際に触れてみましょう。この講義では、小説や映画などを題材に、フランスだけに限らず国際文化の学びを解説します。				
< 6月29日(水) 17:30~19:00 >				
第3講: 「様々なフランスの文化について」				
知っているようで、良く知らない国フランス。フランスとフランス語圏のことをもっと知っていこう。				
その他				
テキスト	講義内容についてのプリントを教員が用意し、毎回配付します。			
参考文献	適宜、授業内で紹介して行きます。			
関連科目	国際学、文学			
開講日時	6/15(水)	6/22(水)	6/29(水)	
	17:30~19:00			
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明徳館ビル2階)			
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス			
	電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学	
科目名 (サブタイトル)	[4] 地域資源と地域活性化	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 白木 智昭 (計1名)	
授業概要	観光、文化、歴史、自然、特産品などの「地域資源」を活用した地域活性化の可能性について解説します。具体的な事例を交えながらお話ししていきます。			
授業方法 と留意点	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。地域活性化に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。			
授 業 計 画				
【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります				
< 6月 4日 (土) 11:10~12:40 >				
第1講：「地域資源と地域イメージ」 地域イメージやマーケティング手法の活用による地域活性化について解説します。				
< 6月 4日 (土) 13:20~14:50 >				
第2講：「地域資源と地域ブランド」 地域ブランドや地域の個性を活かした地域活性化について解説します。				
< 6月 4日 (土) 15:00~16:30 >				
第3講：「地域資源と地域ネットワーク」 ネットワークの活用や地域一体となった取り組みによる地域活性化について解説します。				
その他	6/4 (土) は昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)			
テキスト	授業の内容をまとめた資料を配布します。			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	現代社会、政治・経済			
開講日時	6/4 (土)			
	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学		
科目名 (サブタイトル)	[5] 身近な有機化学・有機化合物	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 生命科学科 教授 藤原 憲秀 (計1名)		
授業概要	有機化合物は、天然物や人工物など由来を問わず、私達の生活に密着しています。この授業では、身近な有機化合物を題材として、有機化学と関連する生物現象や物理現象を分かり易く解説します。				
授業方法 と留意点	プロジェクターを用いた解説の他、有機化合物の分子模型の組み立てや、簡単な演示実験を予定しています。				
授 業 計 画					
【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります					
< 6月 5日 (日) 10:30~12:00 >					
第1講：「 有機化合物のかたち 」 身近な有機化合物の「分子のかたち」に関わる話題を説明します。					
< 6月 5日 (日) 12:50~14:20 >					
第2講：「 スパイスの色と香りと刺激の有機化合物 」 スパイスやハーブに含まれる有機化合物を紹介します。簡単な演示実験もあります。					
< 6月 5日 (日) 14:30~16:00 >					
第3講：「 色調の変化する人工色素の有機化学 」 機能を持った人工色素について紹介します。簡単な演示実験もあります。					
< 6月 12日 (日) 12:50~14:20 >					
第4講：「 健康と天然有機化合物 」 ヒトの健康に関わる天然由来の有機化合物の話題を紹介します。					
< 6月 12日 (日) 14:30~16:00 >					
第5講：「 自然毒の有機化学 」 ヒトの健康に関わることの続きですが、食中毒に関わる毒素の話題を紹介します。					
その他	6/5 (日) は昼食を持参ください。(昼食時間 12:00~12:50)				
テキスト	講義の各回資料を配布します。				
参考文献	配布資料に掲載します。				
関連科目	化学基礎・化学 家庭 (食品)				
開講日時	6/5 (日)			6/12 (日)	
	10:30~12:00	12:50~14:20	14:30~16:00	12:50~14:20	14:30~16:00
会場	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟(理工学部6号館)2階 講義室				
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: fjwkn@gipc.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)				

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学		
科目名 (サブタイトル)	[6] 高校生のための応用化学 (化学と社会の接点を知ろう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 物質科学科 教授 村上 賢治 (計5名)		
授業概要	応用化学は、化学の知識や研究成果を新しい物質や技術の開発に利用する学問であり、人間社会を豊かにする重要な役割を担っています。応用化学が社会のどのような場面で活躍しているのかを、先端的な研究例も取り上げて楽しく学びます。				
授業方法と留意点	スライドを用いた講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、応用化学の魅力を易しく楽しく解説したいと思います。				
授 業 計 画					
【募集定員人数20名】 先着順で募集を締め切ります					
< 7月16日 (土) 13:30~15:00 > 教授 村上 賢治					
第1講：「クリーンエネルギー」 2050年にカーボンニュートラルを実現するためには、燃料の有するエネルギーを化学の力で上手く取り出す必要があることを解説します。					
< 7月16日 (土) 15:15~16:45 > 教授 寺境 光俊					
第2講：「身の回りで活躍する有機材料」 我々の日常生活では様々な有機材料が使われています。これら有機材料の特徴や機能について、分子レベルから解説します。					
< 7月17日 (日) 9:30~11:00 > 准教授 小笠原 正剛					
第3講：「化学の眼で見る液体燃料と環境側面 ～二酸化炭素とSDGs～」 秋田で産出される「石油」を起点として、液体燃料について概説します。また、炭素循環と二酸化炭素、SDG'sとの関連を紹介します。					
< 7月17日 (日) 11:10~12:40 > 准教授 高橋 博					
第4講：「ビーカーや試験管の中の化学反応はどのようにして実用化されるのか？」 化学反応を利用して物質を生産する場合、どのようにして実用化されていくのでしょうか。高校の教科書には記載が少ない、化学の裾野の広さを知る良い機会となるでしょう。					
< 7月17日 (日) 13:20~14:50 > 教授 加藤 純雄					
第5講：「環境浄化に役立つ無機材料」 社会を豊かにする技術の発展とともに問題となる、大気や水の汚染を防止し、浄化に役立つ無機物質、技術を化学の視点から解説します。					
その他	7/17 (日) は昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)				
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。				
参考文献	授業の中で紹介します。				
関連科目	化学				
開講日時	7/16 (土)		7/17 (日)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部4号館 2階 229講義室				
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: murakami@gipc.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)				

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学	
科目名 (サブタイトル)	[7] 高校生のための材料工学への誘い	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 物質科学科 材料工学コース 教授 齋藤 嘉一 (計4名)	
授業概要	新たな工業材料を生み出すことや、それらを活用するための技術を開発・研究するための学問分野である材料工学について理解を深めるとともに、当該分野とサステナブル社会の関りについて教養を広める。			
授業方法と留意点	初学者に配慮した講義内容に加え、簡単な実験を通じて材料の不思議や面白さを体感してもらいながら授業を進める。			
授 業 計 画				
【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります				
< 6月18日(土) 13:00~14:30 > 教授 齋藤 嘉一				
第1講：「身近な金属材料の性質を知ろう！学ぼう！」 金属の歴史と利用について概説するとともに、身近な金属材料を使った簡単な実験を行い、金属の性質に対する理解を深める。				
< 6月18日(土) 14:40~16:10 > 教授 大口 健一				
第2講：「材料の強さを調べよう！」 材料を安全に使用するには、予め「材料の強さ」を把握していなければならない。本講義では、その調べ方と、そこで得られる情報に基づく、機械・構造物の設計の基礎について説明する。				
< 6月25日(土) 13:00~14:30 > 教授 林 滋生				
第3講：「環境にやさしいセラミック材料について学ぼう！」 材料のもつ様々な機能は、サステナブル社会実現のために重要な役割を担う。本講義ではその一例として、環境問題と深い関わりをもつセラミック材料について、そのはたらきや仕組みについて説明する。				
< 6月25日(土) 14:40~16:10 > 教授 吉村 哲				
第4講：「高機能電子材料は世の中を便利にする！」 理科で習う法則の電子デバイスへの応用について簡単な実験を行いながら概説するとともに、電子デバイスの高性能化と電子材料の高機能化の関係における歴史と将来展望について述べる。				
その他				
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配布します。			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	化学，物理			
開講日時	6/18(土)		6/25(土)	
	13:00~14:30	14:40~16:10	13:00~14:30	14:40~16:10
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部3号館 3階 319講義室			
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: ksaito@gipc.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学
科目名 (サブタイトル)	[8] 再生可能エネルギー入門 (基礎知識から秋田の最新動向まで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 熊谷 誠治 (計1名)
授業概要	エネルギーと環境に関する社会情勢と技術は、刻々と変化しています。本授業では、再生可能エネルギーに関する基礎知識を身に付けます。さらに、世界的動向から地元秋田での取り組みまで、最新情報を提供します。		
授業方法 と留意点	パワーポイントとプリントを用いて授業を進めます。物理と化学の履修は必須ではありません。再生可能エネルギーに興味があれば十分に理解できる内容です。		
授 業 計 画			
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります			
< 8月 6日 (土) 13:00~14:30 >			
第1講：「日本と世界のエネルギー情勢と再生可能エネルギーとは」 日本および世界のエネルギー情勢，再生可能エネルギーの種類や特徴について学びます。さらに、個別の再生可能エネルギーの原理や特性について学びます。洋上風力発電や秋田に豊富に存在する地熱について説明します。			
< 8月 6日 (土) 14:40~16:10 >			
第2講：「蓄電技術，バイオマスの利用とカーボンニュートラル」 再生可能エネルギーの有効利用と助けるリチウムイオン電池などの蓄電技術を説明します。また、バイオマスとその特徴であるカーボンニュートラルについて学びます。秋田での取り組みについても紹介します。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。		
参考文献			
関連科目	物理，物理基礎，化学，化学基礎		
開講日時	8/6 (土)		
	13:00~14:30	14:40~16:10	
会場	秋田大学 手形キャンパス 理工学部1号館1階 D-130講義室		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス 電話：018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) 科目担当者E-mail: kumagai@gipc.akita-u.ac.jp (緊急の場合は当日も可)		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学	
科目名 (サブタイトル)	[9] 高校生のための最新人間情報学 (AIからXRまで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 水戸部一孝, 景山陽一, 有川正俊 (計3名)	
授業概要	優れたサービスをつくるためには、人間に対する深い理解が必要です。ヒトに優しい人間情報分野の最新技術について紹介し、秋田に住む人々の暮らしを良くするためのアイデアと手段について一緒に考えたいと思います。			
授業方法 と留意点	スライドと配布プリントにより講義します。また、人間情報分野の最新技術を体験できるデモンストレーションも用意しています。			
授 業 計 画				
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります				
<6月 4日(土) 10:30~12:00> 教授 有川 正俊				
第1講: 「空間情報学で活かす秋田の風土」 GPSの精度は向上し、スマートフォンの進化は今後も加速していきます。「外国人や道に迷いやすい人でも秋田の魅力を満喫できる」そんな未来をつくる技術について講義します。				
<6月 4日(土) 13:00~14:30> 教授 水戸部 一孝				
第2講: 「メタバースとXRで拓く秋田の未来」 コンピュータの進化に伴いXRを身近に楽しめる時代になりました。「秋田で暮らしながら、東京やニューヨークで琴を教える？」そんな未来をつくる技術について講義します。				
<6月 4日(土) 14:45~16:15> 教授 景山 陽一				
第3講: 「センシングと機械学習で見守る秋田の暮らし」 Society 5.0は秋田の人々の暮らしをどのように変えるのでしょうか? 「家族のように体調や気持ちの変化に気付いてくれる」そんな未来を創る技術について講義します。				
その他	6/4(土) は昼食を持参ください。(昼食時間12:00~13:00)			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	情報, 生物, 数学, 物理, 国語			
開講日時	6/4(土)			
	10:30~12:00	13:00~14:30	14:45~16:15	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス			
	電話: 018-889-3191 (秋田大学 総合学務課 平日9:00~17:00) E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋 田 大 学
科目名 (サブタイトル)	[10] ネットワーク技術とセキュリティ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	情報統括センター 准教授 横山洋之 (計3名)
授業概要	秋田大学の情報教育環境とネットワークについて概説するとともに、情報セキュリティに関する状況について説明します。これらを通じ、今後の情報通信技術について考えていきます。		
授業方法 と留意点	スライドにより講義を行います。		
授 業 計 画			
【募集定員人数5名】先着順で募集を締め切ります			
＜7月16日（土）10：30～12：00＞ 准教授 横山 洋之			
第1講：「秋田大学の情報教育環境」 秋田大学の情報教育環境がどのようなものか解説し、これを通して最新の情報ネットワーク技術を講義します。			
＜7月16日（土）12：50～14：20＞ 技術専門員 正木 忠良			
第2講：「インターネットの基礎知識 DNS編」 普段、私たちがインターネットを利用する際に、あまり意識することのないDNSの役割について講義します。			
＜7月16日（土）14：30～16：00＞ 准教授 片平 昌幸			
第3講：「怪しいメールに気を付けよう～事例に学ぶ見分け方のコツ～」 皆さんは、友人との連絡には電子メールをあまり使わないかもしれませんが、通販などの各種のネットワークサービスの連絡などではまだメールが主役です。インターネットには、ニセのメールを使って皆さんの個人情報をおねらったりする悪い人たちがたくさんいます。そのようなニセメールにだまされないようにするための見分け方のコツについて、いろいろな事例を元に講義します。			
その他	7/16（土）は昼食を持参ください。（昼食時間12：00～12：50）		
テキスト	資料を配布します。		
参考文献			
関連科目	情報		
開講日時	7 / 1 6 （ 土 ）		
	10：30～12：00	12：50～14：20	14：30～16：00
会場	カレッジプラザ（秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階）		
欠席連絡先	秋田大学 手形キャンパス		
	電話：018-889-3191（秋田大学 総合学務課 平日9：00～17：00） E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[11] 3Dモデリングを学ぼうin秋田 (オンリー・ワンを形にする3Dプリントへの道)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 機械工学科 准教授 高橋 武彦 (計1名)	
授業概要	機械システムから一般的な製品まで、その開発・設計・生産では、3次元CADのデータが使われます。本授業では、3次元CADモデリングの基礎を学びます。そのデータを3Dプリンタで使う場合のポイントもお話しします。			
授業方法 と留意点	パワーポイントとプリントを用いた説明と、一人1台のPCを使った3次元CADの体験により、授業を進めます。			
授 業 計 画				
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります				
< 7月28日 (木) 14:00~15:30 >				
第1講：「3次元CADを知る」 3次元CADで出来ること、そのデータの活用方法であるシミュレーション、CAMモデリングとNC加工、3次元図面、3Dプリント等について紹介します。				
< 7月28日 (木) 15:40~17:10 >				
第2講：「パーツをデザインしよう」 3次元CADでパーツをモデリングするための基本的な考え方を学びます。さらに、基本となるスケッチによる作図と押出し、切り取りなどのフィーチャを組み合わせることで複雑な形状もモデル化できることを体験します。				
< 7月29日 (金) 14:00~15:30 >				
第3講：「動きをデザインしよう」 3次元CADでパーツを組み合わせるアセンブリモデリングの基本的な考え方を学びます。アセンブリモデリングにより、回転運動を直線運動に変換するような単一の動きの機構が実現できること、それを応用した歩行機構などを紹介します。				
< 7月29日 (金) 15:40~17:10 >				
第4講：「3Dプリンターでつくるとしたら？」 3Dプリンターの仕組みや機能について講義します。そして、樹脂を使って3DプリントするFDM型3Dプリンターで使う3Dデータに求められることも紹介します。				
その他				
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配布します。			
参考文献	なし			
関連科目	物理, 数学			
開講日時	7/28 (木)		7/29 (金)	
	14:00~15:30	15:40~17:10	14:00~15:30	15:40~17:10
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[12] 3Dモデリングを学ぼうin本荘 (オンリー・ワンを形にする3Dプリントへの道)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 機械工学科 准教授 高橋 武彦 (計1名)	
授業概要	機械システムから一般的な製品まで、その開発・設計・生産では、3次元CADのデータが使われます。本授業では、3次元CADモデリングの基礎を学びます。そのデータを3Dプリンタで使う場合のポイントもお話しします。			
授業方法と留意点	パワーポイントとプリントを用いた説明と、一人1台のPCを使った3次元CADの体験により、授業を進めます。			
授 業 計 画				
【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります				
< 6月13日 (月) 17:30~19:00 >				
第1講：「3次元CADを知る」 3次元CADで出来ること、そのデータの活用方法であるシミュレーション、CAMモデリングとNC加工、3次元図面、3Dプリント等について紹介します。				
< 6月20日 (月) 17:30~19:00 >				
第2講：「パーツをデザインしよう」 3次元CADでパーツをモデリングするための基本的な考え方を学びます。さらに、基本となるスケッチによる作図と押出し、切り取りなどのフィーチャを組み合わせることで複雑な形状もモデル化できることを体験します。				
< 6月27日 (月) 17:30~19:00 >				
第3講：「動きをデザインしよう」 3次元CADでパーツを組み合わせるアセンブリモデリングの基本的な考え方を学びます。アセンブリモデリングにより、回転運動を直線運動に変換するような単一の動きの機構が実現できること、それを応用した歩行機構などを紹介します。				
< 7月 4日 (月) 17:30~19:00 >				
第4講：「3Dプリンターでつくとしたら？」 3Dプリンターの仕組みや機能について講義します。そして、樹脂を使って3DプリントするFDM型3Dプリンターで使う3Dデータに求められることも紹介します。				
その他	この授業は秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 情報：秋田県立大学 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4			
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配布します。			
参考文献	なし			
関連科目	物理，数学			
開講日時	6/13 (月)	6/20 (月)	6/27 (月)	7/4 (月)
	17:30~19:00			
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付：共通施設棟1階 事務室 授業会場：学部棟Ⅱ2F CADコンピュータ実習室 (GII-205)			
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	[13] C言語プログラミング		科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計4名)		
授業概要	パソコンやスマートフォンで動くアプリケーションはプログラミング言語でプログラムされています。本科目では代表的なプログラミング言語であるC言語を講義と実習により学習します。					
授業方法と留意点	実習を交えながら授業を進めます。 本科目は、秋田県立大学システム科学技術学部情報工学科必修科目「プログラミング I」の3回分の授業に相当します。					
授 業 計 画						
【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります						
< 6月11日 (土) 13:30~15:00 >						
第1講: 「プログラミング入門 (1)」 ソフトウェア開発の手順を学び、必要となるツールの使い方を学びます。						
< 6月11日 (土) 15:15~16:45 >						
第2講: 「プログラミング入門 (2)」 フローチャートの書き方を学び、実際にフローチャートを描いてみます。						
< 6月18日 (土) 13:30~15:00 >						
第3講: 「C言語の基本的規則 (1)」 プログラムから実行可能ファイルを作る手順を学びます。						
< 6月18日 (土) 15:15~16:45 >						
第4講: 「C言語の基本的規則 (2)」 標準入出力について学び、簡単なインタラクティブなプログラムを作ります。						
< 6月25日 (土) 13:30~15:00 >						
第5講: 「簡単な計算・プリプロセッサ (1)」 簡単な計算を行うプログラムを作ります。						
< 6月25日 (土) 15:15~16:45 >						
第6講: 「簡単な計算・プリプロセッサ (2)」 べき乗や平方根を計算する関数を学び、三角形の面積を計算するプログラムを作成します。						
その他	担当教員: 准教授・廣田千明、 准教授・渡邊貫治、 助教・橋浦康一郎、 助教・伊東嗣功 この授業は秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 情報: 秋田県立大学 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4					
テキスト	当日資料を配布します					
参考文献	授業の中で紹介します					
関連科目	数学, 情報					
開講日時	6/11 (土)		6/18 (土)		6/25 (土)	
	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付: 共通施設棟1階事務室 授業会場: 学部棟 I GI 417					
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp					

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

□従来型授業

■単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[14] プログラミング言語Python入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学・知能メカトロニクス学科 准教授 廣田 千明 (計3名)
授業概要	Pythonは人工知能の開発によく使われており，最近人気のコンピュータ言語です。この授業ではPythonの使い方を学び，最大公約数を求めたり，データを並び替えたりといった簡単なプログラムを作ります。		
授業方法と留意点	<p>実習を交えながら授業を進めます。クロムブックなどパソコンをお持ちの方はご持参ください。端末がない場合は貸し出します。</p> <p>その場合でもGoogleアカウントのIDとパスワードがあると作成したプログラムを残しておくことができます。</p> <p>本科目は，秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科・情報工学科選択科目「データサイエンスプログラミングA」の2回分の授業に相当します。</p> <p>本科目受講生は希望すれば，本科目を単位取得予約型授業に切り替え，残りの6回の授業を受講することで単位を取得することが可能になります。</p> <p>(※別途高校生科目等履修生としての手続きが必要となります)</p>		
授 業 計 画			
【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月 4日 (土) 13:30~15:00 >			
第1講：「Pythonでプログラミングをしてみよう」			
Pythonでのプログラミング方法を学びます。			
< 6月 4日 (土) 15:15~16:45 >			
第2講：「いろいろな計算をしてみよう」			
最大公約数を計算したり，データをソートしたり，Pythonで実際にいろいろな計算をします。			
その他	担当教員：准教授・廣田千明、准教授・松下慎也、助教・橋浦康一郎 この授業は秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 情報：秋田県立大学 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
テキスト	当日資料を配布します		
参考文献	「ゼロからやさしくはじめるPython入門」，クジラ飛行機機著，マイナビ出版		
関連科目	数学，情報		
開講日時	6/4 (土)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付：共通施設棟1階事務室 授業会場：学部棟 I GI 417		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[15] コンピュータ, 役に立ちます (プログラミング, インターネット, 音響, 生体計測)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計4名)	
授業概要	私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的考え方や様々な技術の活用法を学びます。			
授業方法 と留意点				
授 業 計 画				
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります				
<6月 7日 (火) 17:30~19:00> 准教授 廣田 千明				
第1講: 「プログラミングを学ぼう」 コンピュータを使いこなせるようになるためにプログラミングとはなにかを学びます。				
<6月14日 (火) 17:30~19:00> 助教 寺田 裕樹				
第2講: 「パケットの中身をみてみよう」 コンピュータを使ってデジタルデータをみてみます。				
<6月21日 (火) 17:30~19:00> 准教授 渡邊 貫治				
第3講: 「音の仕組み, 音を作る (創る) には」 音の物理的な側面, 感覚的な側面に基づくコンピュータによる音の合成の話です。				
<6月28日 (火) 17:30~19:00> 助教 伊東 嗣功				
第4講: 「神経工学技術を用いた 身体機能の拡張技術について」 身近になりつつある生体計測システムとその応用について学びます。				
その他	この授業は秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 情報: 秋田県立大学 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4			
テキスト	当日資料を配布します			
参考文献	授業の中で紹介します			
関連科目	数学, 情報			
開講日時	6/7 (火)	6/14 (火)	6/21 (火)	6/28 (火)
	17:30~19:00			
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付: 共通施設棟1階事務室 授業会場: 共通施設棟3階K336			
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学		
科目名 (サブタイトル)	[16] ドローンを作って飛ばそう (ドローンの理解から競技会まで)		科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 嶋崎 真仁 (計6名)	
授業概要	ドローンの組み立てを通じて、ドローンの飛行原理を理解するとともにドローンの可能性について学習する。				
授業方法と留意点	若干の電子工作を行うので、制服が汚れないようにエプロンなどを持参すること。				
授 業 計 画					
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります					
< 8月 5日 (金) 13:30~14:20 > 助教 長南 安紀					
第1講: 「ドローンの可能性」 ドローンを作り、飛ばす技術を持つことで広がる可能性を知る。					
< 8月 5日 (金) 14:30~15:20 > 准教授 境 英一					
第2講: 「ドローンはこう動いている」 ドローンの構成と飛行原理を理解することで、ドローンの基本的知識を学ぶ。					
< 8月 5日 (金) 15:30~16:20 > 助教 寺田 裕樹					
第3講: 「ドローンをつくってみよう」 自作用のドローンキットを組み立てることを通じて、第2講で学んだ内容を深める。					
< 8月 6日 (土) 13:20~14:50 > 准教授 永吉 武志					
第4講: 「ドローンを飛ばすために知っておくべきこと」 ドローンを現実に飛ばすために知っておくべき知識を理解する。					
< 8月 6日 (土) 15:00~16:30 > 助教 竹内 仁哉					
第5講: 「ドローン競技会」 手作りしたドローンを使って、レースに参加して、タイムと撮影技術を競う。 ※創造学習参加の小中学生も合流					
その他	持ち物: エプロン				
テキスト					
参考文献					
関連科目					
開講日時	8/5 (金)			8/6 (土)	
	13:30~14:20	14:30~15:20	15:30~16:20	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 明德館ビル2階)				
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp				

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[17] ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司 (計1名)
授業概要	ミュージアムは建築そのものが特色ある作品であり、芸術作品を展示保管するために、機能的にも対応した空間が求められます。今回は、ドイツを中心としたヨーロッパの事例を旅しながら、その魅力にふれていただく機会とします。		
授業方法 と留意点	令和3年度の内容を若干アップデートしたものになります。昨年度受講した方はご注意ください。		
授 業 計 画			
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月 4日 (土) 13:20~14:50 >			
第1講：「歴史あるミュージアム建築の魅力」 ルーブル美術館（フランス，パリ），ウフィッツィ美術館（イタリア，ミラノ），アムステルダム国立美術館（オランダアムステルダム），を題材に，建築の特徴と，改修や増築の際の建築家の提案について解説します。			
< 6月11日 (土) 13:20~14:50 >			
第2講：「ミュージアム建築のアイデアと建築家の模索 -ホワイトキューブを超えて」 単に白い箱（ホワイトキューブといいます）をつくれれば便利でよいのか？光や風景との対話，あえて彫刻作品のようにした建築など，作品と向き合うだけではない，視覚体験や展示方法を模索した（模索させる）建築作品を中心に，解説を行います。			
< 6月25日 (土) 13:20~14:50 >			
第3講：「ある芸術家，ある作品，ある街のための特別な空間」 特に重要な芸術作品と向き合うための特別な空間が，建築に求められることがあります。秋田県立美術館の「秋田の行事」のための空間などを例にあげることができます。また，街の歴史資源などをテーマにした展示空間では，街や歴史遺産との関係も考えられています。この回では，そうした事例をご紹介します。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	6/4 (土)	6/11 (土)	6/25 (土)
	13:20~14:50		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[18] リスクで分かる判断と違いの心理 (医療・生活・科学技術・政策 すべてに役立つリスクリテラシー)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 金澤 伸浩 (計1名)
授業概要	リスクを確率で定義すると、何がどれくらい危ないかが整理でき、行動の判断や他人の価値観の理解につながります。リスクの特性やリスクに対する感覚の違いの元になる心理の特性についても学びます。		
授業方法 と留意点	参加型で気づきを通して学んでいく授業です。開講時期に感染予防対策として生徒同士の会話を避ける必要がある場合には、講話形式とします。		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>< 8月 2日 (火) 14:30~16:00 ></p> <p>第1講：「リスクとは何か」</p> <p>様々な意味で使われるリスクという言葉を確認することで、危ないものに対する判断や他人の価値観が分かることを学んでいきます。科学技術や社会の今後を考える基礎にもなります。</p> <p>< 8月 2日 (火) 16:15~17:30 ></p> <p>第2講：「リスク認知のバイアス」</p> <p>リスクの大きさは直感的に捉えがちです。ヒューリスティクスなど心理学的要因により、リスクの受け止め方に違いが出てしまう現象を体感しながら学びます。</p>			
その他			
テキスト	講義で教材を配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	8/2 (火)		
	14:30~16:00	16:15~17:30	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	〔19〕宇宙プラズマ科学入門		科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 機械工学科 教授 杉本 尚哉 (計1名)
授業概要	宇宙にある物質の99%は、「プラズマ」状態にあるとされています。授業では、「プラズマとはどのようなものか」から始めて、プラズマの性質を基に宇宙で起こっている現象について説明していきます。			
授業方法と留意点	基本的に予備知識無しであることを前提に授業を行います。 「プラズマ」などのキーワードについては、インターネットなどで眺める程度でもいいので自分で調べておいてほしいと思います。			
授 業 計 画				
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります				
< 6月 2日 (木) 17:30~19:00 >				
第1講：「「プラズマ」とは何か？」				
<ul style="list-style-type: none"> ・物質を温め続けるとどうなる？ ・宇宙全体から見ると地球環境はかなり特殊！？ 				
< 6月 9日 (木) 17:30~19:00 >				
第2講：「太陽も星（恒星）もプラズマでできている」				
<ul style="list-style-type: none"> ・「プラズマ」の塊・太陽 ・太陽から吹いてくるプラズマの風 ・オーロラもプラズマ現象 				
< 6月16日 (木) 17:30~19:00 >				
第3講：「宇宙に漂うプラズマ」				
<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙空間で輝いている雲の正体 ・なぜ色んな色で光って見えるのか？ 				
< 6月23日 (木) 17:30~19:00 >				
第4講：「宇宙でみられるプラズマディスクとプラズマジェット」				
<ul style="list-style-type: none"> ・プラズマでできたコンパクトディスク？ ・ある特定の方向にだけ流れ続けているプラズマ 				
その他	この授業は秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 情報：秋田県立大学 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4			
テキスト	資料を配布します。			
参考文献	授業で紹介します。			
関連科目	物理学、数学			
開講日時	6/2 (木)	6/9 (木)	6/16 (木)	6/23 (木)
	17:30~19:00			
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付：共通施設棟1階事務室 授業会場：共通施設棟3階K336			
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[20] 高校数学から大学への数学へ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 木村 寛 (計1名)
授業概要	「大学で学ぶ数学とはどのような数学なのだろう？」高校数学のその先にある、より専門的な数学に触れてみませんか。高校数学の理解にも繋がります。高校生でもわかるように分かり易く解説します。		
授業方法と留意点	高校1年生からの受講が可能です。数学が得意・不得意に関わらず、数学に興味や関心を持っている人大歓迎です。また社会への数学の活用法に興味がある人も大歓迎です。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月 9日 (土) 9:30~11:00 >			
第1講：「大学1・2年生で学ぶ数学（解析学・線形代数学）」 一般的な極限の考え方や、実数、ベクトル、空間などの概念を紹介する。高校数学からの新たな数学の世界の広がりを感じられると思われる。			
< 7月 9日 (土) 11:10~12:40 >			
第2講：「データサイエンスの基礎（数理統計学）」 数理統計学はデータサイエンスを学習する上で重要となる数学分野である。数理統計学の基本的な内容について紹介する。			
< 7月 9日 (土) 13:20~14:50 >			
第3講：「現実問題を解決する数学（数理最適化・ゲーム理論）」 最短路問題の最適解や、非協力ゲームの均衡解など、現実問題を解決する数学として数理最適化とゲーム理論について紹介する。			
その他	7/9 (土) は昼食を持参ください。(昼食時間：12:40~13:20)		
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	数学、情報、経営、経済		
開講日時	7/9 (土)		
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名		秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[21] 「女性の街づくり」マーケティング (秋田は女性にとって住みやすいまちですか?)			科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 嶋崎 真仁 (計3名)
授業概要	秋田を「女性の住みやすい街に」。そのために何が必要か?マーケティングにおける調査手法「商品企画七つ道具」を活用して、アンケートを設計、実施、解析を通じて、皆さんと一緒に明らかにしていきます。				
授業方法と留意点	秋田に愛着があり、問題意識を持っている女性の皆さんに参加してもらいたいです。若干の数学的知識とパソコンで「MS-Excel」などの表計算ソフトを使います。もし手持ちのパソコンがあれば持ち込んでください。				
授 業 計 画					
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります					
<6月23日(木) 17:30~19:00> 准教授 嶋崎 真仁・助教 竹内 仁哉					
第1講: 「なぜ「女性の街づくり」が必要か・商品企画七つ道具を学習しよう」 この授業で使用するマーケティング手法「商品企画七つ道具」の概要を紹介します。この手法ではグループインタビューを通じてニーズの探索とアイディアの絞り込みを行い、アンケートを分析して重要視するニーズを選び取ります。					
<6月30日(木) 17:30~19:20> 准教授 嶋崎 真仁・Venus Club 代表 竹下 香織					
第2講: 「グループインタビューをやってみよう」 この街に住み続けるにはどのような要素が必要か?これは年齢を重ねて初めて分かることが多いので、受講者の皆さんから見て様々な経験をしている女性から情報を得て、街づくりに必要となる要素をたくさん割り出します。					
<7月7日(木) 17:30~19:00> 准教授 嶋崎 真仁					
第3講: 「アンケートを設計してみよう」 この街を評価するアンケートをつくってみる。アンケートはGoogleFormsを用いてオンラインで採れるものにし、授業終了後にLINEやQRコードを使って調査依頼を行います。					
<7月14日(木) 17:30~19:00> 准教授 嶋崎 真仁					
第4講: 「アンケートを解析してみよう」 アンケートの解析を実際にやってみて、アンケートを設計したときの仮説が正しかったかを検証します。					
<7月21日(木) 17:30~19:00> 准教授 嶋崎 真仁 ほか					
第5講: 「提言のプレゼンテーション」 アンケート結果を使い、県庁や市役所の担当者に提言するプレゼンテーションを作成・実施して、関係者からのアドバイスを受けます。					
その他	情報: カレッジプラザ、中通サテライト (秋田市中通2丁目1-5 明德館ビル2階)				
テキスト					
参考文献					
関連科目					
開講日時	6/23(木)	6/30(木)	7/7(木)	7/14(木)	7/21(木)
	17:30~19:00				
会場	中通サテライト	カレッジプラザ	中通サテライト	中通サテライト	カレッジプラザ
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp				

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[22] 日本人のための英会話基礎的練習	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 准教授 山崎 健一 (計1名)
授業概要	英語によるスピーキングを行う際の特徴と解決法を指導する。ペアワークによる英語スピーキング練習を行い、日本人同士での英会話練習を行う。継続的に行える英会話練習法など、英会話の導入的練習を行う。		
授業方法と留意点	英会話に関する基本的な指導は行うが、日本人学生同士による英会話練習が主な内容である。高い英語力は必要ないものの、英語でコミュニケーションをとる意欲のあるものが望ましい。また、基本的な英会話練習なので、すでに英会話練習を積んでいる学生には不向きである。		
授 業 計 画			
【募集定員人数12名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月 7日 (木) 17:30~19:00 >			
第1講：「英会話の基礎知識」			
日本語と英語の根本的な違いから始め、日本人が陥りがちな英会話における問題点の解決法を明示する。その後、ペアワークによる英語スピーキング練習を行う。			
< 7月12日 (火) 17:30~19:00 >			
第2講：「高校英語で英会話」			
高校で学ぶ英語がいかに関英会話に役に立つかを明示する。反復練習ののち、ペアワークによる英語スピーキング練習を行う。			
< 7月14日 (木) 17:30~19:00 >			
第3講：「継続的英会話練習法」			
一人でも継続的に練習できる英会話練習法を明示する。その後、ペアワークによる英語スピーキング練習を行う。			
その他	この授業は秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 情報：秋田県立大学 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
テキスト			
参考文献			
関連科目	英語		
開講日時	7/7 (木)	7/12 (火)	7/14 (木)
	17:30~19:00		
会場	秋田県立大学 本荘キャンパス 受付：共通施設棟1階事務室 授業会場：共通施設棟3階K336		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話：0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[23] アグリビジネスの新しいカタチ (多様化したアグリビジネスを学ぶ)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 教授 吉田 康德 (計4名)	
授業概要	近年の農業は、SDGsなどに適応したアグリビジネスの創出が期待されています。本講座では、テクノロジーや未利用の資源やエネルギーが融合することで創出される、多様化したアグリビジネスを最新の事例を踏まえ講義します。			
授業方法と留意点	いまの現場が専門的なことがらでも、わかり易く講義します。			
授 業 計 画				
【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります				
<7月30日(土) 9:30~11:00> 准教授 酒井 徹				
第1講：「SDGsと持続的農業」 2015年の国連サミットでSDGsが採択されました。農業には、生産力の持続性ととともに、環境や生物多様性への配慮が求められています。これを受けた欧米や日本の動向と課題について考えます。				
<7月30日(土) 11:10~12:40> 准教授 林 芙俊				
第2講：「切り花ダリアのイノベーション」 農業におけるイノベーションには、IT産業などとは異なる特徴があります。その具体例として、秋田県からはじまったダリアのイノベーションを取りあげ、農業におけるイノベーションを促進する方策について考えます。				
<7月30日(土) 13:20~14:50> 助教 佐藤 勝祥				
第3講：「秋田の魅力が詰まった赤身牛肉を創り出そう！」 秋田県に散らばっている未利用飼料資源を探索しながら、日本短角種牛が本来持っている魅力・能力を発揮させることで、秋田県の魅力が詰まった赤身牛肉の創出に取り組んでいます。研究紹介を交えながらお話しします。				
<7月30日(土) 15:00~16:30> 教授 吉田 康德				
第4講：「秋田版スマート農業によるトマトの周年栽培」 秋田のような寒冷地では、温暖地と比較して栽培条件が厳しいため、トマトの周年栽培は困難とされ、それに関連した技術開発も遅れているのが現状です。そこで、未利用の自然エネルギーとスマート農業を組み合わせた新しい日本海型のトマト栽培を紹介します。				
その他	7/30(土)は昼食を持参ください。(昼食時間：12:40~13:20)			
テキスト	講義内容をまとめたテキストを配付します。			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	生物学、畜産学、野菜栽培学、農業経営学、社会経済論、グリーンライフ			
開講日時	7/30(土)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1529 (平日9:00~17:00) E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[24] おもしろ生物学 ここだけの話 (生き物の不思議を科学する)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 准教授 佐藤（永澤）奈美子 (計3名)
授業概要	大学では机上の勉強だけでなく、研究を通じて新しい発見をすることができます。この授業では、教科書には詳しく書かれていない生物学のおもしろい話題について、県立大学教員の研究なども交えて紹介します。		
授業方法と留意点	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。生物学に興味がある生徒はもちろん、そうでもない生徒の受講も歓迎します。		
授 業 計 画			
【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります			
<7月10日(日) 9:30~11:00> 准教授 上田 健治			
第1講：「細胞の中で起こる不思議な現象」 性染色体やオートファジーの役割について紹介します。			
<7月10日(日) 11:10~12:40> 准教授 永澤 信洋			
第2講：「生き物の形を作る遺伝子の話」 生き物、特に植物の形態（ボディプラン）を決める遺伝子がどのようにして発見されてきたか？主に花の発生について紹介します。			
<7月10日(日) 13:20~14:50> 准教授 佐藤（永澤）奈美子			
第3講：「いきものの進化のしくみ」 進化のしくみについては、どんなことがわかってきているのか？現在進行中の研究を交えながら、お話ししたいと思います。			
その他	この授業は秋田県立大学 秋田キャンパスを会場に開講します。 情報：秋田市下新城野中野字街道端西241-438 7/10(日)は昼食を持参ください。(昼食時間：12:40~13:20)		
テキスト	プリントを配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物学		
開講日時	7/10(日)		
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50
会場	秋田県立大学 秋田キャンパス A211		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1529 (平日9:00~17:00) E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	[25] バイオテクノロジーへの招待 (動物・植物・微生物・食品醸造の科学)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 応用生物科学科 准教授 志村 洋一郎 (計6名)			
授業概要	高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて私たちの生活に役立つものになって行くのかを、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広い研究方法を交えながら、分かりやすく専門家が解説します。					
授業方法と留意点	授業はオムニバス形式で行います。					
授 業 計 画						
【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります						
< 7月16日(土) 13:30~15:00 > 准教授 志村 洋一郎						
第1講: 「応用生物科学科の研究紹介と腸内細菌叢の科学」 本学科の構成と学科で行われている研究を紹介します。また、腸内細菌叢の科学について解析します。						
< 7月16日(土) 15:15~16:45 > 准教授 春日 和						
第2講: 「放線菌て何? 薬や酵素を生産する微生物」 土の中にいる放線菌は、薬や酵素の生産に利用されている産業的に重要な微生物です。今回はこの放線菌について紹介します。						
< 7月23日(土) 13:30~15:00 > 教授 陳 介余						
第3講: 「食品品質科学の最前線」 食品品評会における専門家の官能評価はAI技術で取り換えられるか?一緒に考えてみよう。						
< 7月23日(土) 15:15~16:45 > 准教授 王 敬銘						
第4講: 「植物バイオテクノロジー・育種への応用」 植物組織培養や細胞培養など様々な技術を駆使した植物育種の研究例を紹介します。						
< 7月30日(土) 13:30~15:00 > 教授 小林 正之						
第5講: 「哺乳動物のバイオテクノロジー: 動物生産とiPS細胞は関連する」 生殖のバイオテクノロジーと動物生産・iPS細胞の関連について紹介します。						
< 7月30日(土) 15:15~16:45 > 准教授 伊藤 俊彦						
第6講: 「発酵食品の温故知新 ~現代の分析技術で知る伝統食品の謎~」 微生物の存在も分からない時代から作られてきた発酵食品。その製造工程は実に理にかなっています。昔の人々の知恵と工夫を現代の分析技術で少しだけ解説します。						
その他	この授業は秋田県立大学 秋田キャンパスを会場に開講します。 情報: 秋田市下新城 中野字街道端西241-438					
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。					
参考文献	授業の中で紹介します。					
関連科目	生物学、化学					
開講日時	7/16 (土)		7/23 (土)		7/30 (土)	
	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45	13:30~15:00	15:15~16:45
会場	秋田県立大学 秋田キャンパス E126					
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話: 018-872-1529 (平日9:00~17:00) E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp					

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学		
科目名 (サブタイトル)	[26] 世界のために生物生産科学で何を学ぶ? (人類を救う食料生産研究)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 応用生物科学科 准教授 阿部 誠 (計5名)		
授業概要	生物生産科学科では、これから先も人類が安心して生活できるために、食料生産に関する様々な研究に取り組んでいます。基礎から応用、ミクロ（分子レベル）からマクロ（畑・田んぼレベル）まで多岐にわたる、生物生産科学科の研究を紹介します。				
授業方法と留意点	生物生産科学科教員によるオムニバス形式の授業です。生物や農業が好きな方はもちろん、食や理科全般に興味のある皆さんの受講も大歓迎です。				
授 業 計 画					
【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります					
<6月11日(土) 11:10~12:40> 助教 曾根 千晴					
第1講：「アフリカの食文化と稲作」 遠く感じるアフリカ大陸でも日本と同じく米がたくさん食べられています。その食文化や稲の栽培方法には大きな違いもあります。今後アフリカと日本間の人や物のやり取りは益々増加していくでしょう。日本とは何が違って何が同じなのか、アフリカの環境で作られている「稲」の姿を紹介します。					
<6月11日(土) 13:20~14:50> 准教授 阿部 誠					
第2講：「昆虫食は世界を救う?!」 昆虫食がちょっとした話題になっています。昆虫を食料とすることは人類を救い、さらに環境にもやさしいのでしょうか？実際、あなたは昆虫を食べることができますか？昆虫食の良い点と問題点について、一緒に考えてみましょう！					
<6月11日(土) 15:00~16:30> 准教授 上田 健治					
第3講：「ゲノム編集って何？遺伝子組換えとは違うの？」 新しい遺伝子改変技術であるゲノム編集は、注目した遺伝子の働きを調べる基礎研究から、動植物の品種改良やヒトの病気の治療にまで幅広く利用されています。ゲノム編集の現状と今後について解説します。					
<6月18日(土) 11:10~12:40> 教授 小峰 正史					
第4講：「食糧生産とエネルギー ～持続可能な農業のあり方～」 現代の農業は、エネルギーをたくさん使うことによって作物を生産しています。食糧生産のどの場面でエネルギーが使われているのでしょうか？農業分野におけるエネルギー消費の実態と、再生可能エネルギーを活用した農業のあり方について分かりやすく解説します。					
<6月18日(土) 13:20~14:50> 教授 藤 晋一					
第5講：「人と環境に優しい病害防除」 農作物を安定して生産するために、化学農薬を使用した病虫害防除が広く行われています。人と環境に優しい農業への取り組みとして、化学合成農薬に依存しない病虫害防除技術が開発・実用化されています。これら新しい技術についてわかりやすく解説します。					
その他	6/11(土)、6/18(土)は昼食を持参ください。(昼食時間：12:40~13:20)				
テキスト	授業ごとに資料を配布します。				
参考文献	授業の中で紹介します。				
関連科目	生物生産科学（食文化、食料生産、再生可能エネルギー）、農学（稲作、病虫害防除）、生物学（植物、遺伝、昆虫）				
開講日時	6/11(土)			6/18(土)	
	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30	11:10~12:40	13:20~14:50
会場	カレッジプラザ（秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階）				
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1529（平日9:00~17:00） E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp				

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[27] 生物環境科学への招待 (ふるさとの自然環境から地球環境までを 見つめるフィールドに密着した科学)		科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物環境科学科 准教授 井上 誠 (計4名)
授業概要	秋田の身近な地域から地球規模に広がる自然環境や生物資源の問題をフィールドに密着しながら発見し、生物資源の人間生活（農林業など）への活用と保全、自然環境の修復と再生などに取り組む生物環境科学を紹介します。			
授業方法と留意点	基本的に、パワーポイントの投影資料による授業です。			
授 業 計 画				
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります				
<7月16日(土) 9:30~11:00> 教授 宮田 直幸				
第1講：「生態系の機能を利用した水環境の修復保全」 生態系やその構成要素である微生物、植物の機能に着目し、湖沼の水質改善や廃水の浄化など、水環境保全の方策について考えます。				
<7月16日(土) 11:10~12:40> 准教授 早川 敦				
第2講：「雨水の行方を追いながら生態系サービスを考える」 雨水が土に浸み込んでから河川水となり、やがて湖や海に到達するまでに、水の性質はダイナミックに変化します。地質や土壌、生物、ヒトとの関わりの中で水の性質がどのように変化するのか、土の中を覗きながら見過ごしがちな生態系サービスを考えます。				
<7月16日(土) 13:20~14:50> 助教 川崎 訓昭				
第3講：「食糧生産量の予測ってどう行っているの？」 皆さんは、2050年の食糧生産量と需要量を予測したグラフを見たことがあると思います。農産物の生産量がどう変化していくかは、どのように予測されているのでしょうか。シミュレーション（予測）の方法と、その成果について紹介します。				
<7月16日(土) 15:00~16:30> 助教 田中 草太				
第4講：「身近な虫から解き明かす環境問題 —放射能汚染から地球温暖化まで—」 なぜ身近な「虫」であるイナゴ、コオロギ、クモ、ミミズを調べることが、放射能汚染や地球温暖化の問題解明に繋がるのか？生き物を介した生態系の物質循環について考えます。				
その他	7/16(土)は昼食を持参ください。(昼食時間：12:40~13:20)			
テキスト	なし			
参考文献	特になし			
関連科目	高校理科（特に、生物・生物基礎、化学・化学基礎）、地域社会、数学			
開講日時	7/16(土)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	カレッジプラザ（秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階）			
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1529（平日9:00~17:00） E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	国際教養大学	
科目名 (サブタイトル)	[28] 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部 国際教養学科 准教授 マルコム・シム (計4名)	
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。			
授業方法と留意点	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。			
授 業 計 画				
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります				
< 6月18日 (土) 15:00~16:30 > 准教授 マルコム・シム (Malcolm SIM)				
第1講: 「Academic Speaking & Listening: Important Factors to Consider」 Academic speaking and listening are important areas that every high school student needs to carefully consider as they prepare to enter university. In this lecture, students will be given an overview of the main skills that students need to be aware of in order to get the most out of their tertiary studies. Examples of best practice will be provided and there will be an examination of the expectations that await future young scholars. (講義は英語で行います。)				
< 6月25日 (土) 15:00~16:30 > 講師 中田 俊介 (Shunsuke NAKATA)				
第2講: 「言語の構造と歴史—古英語を体験する—」 英語は今から1500年以上前の古英語 (Old English) の誕生以来激しく姿を変え、他の欧州言語が今も共有する様々なシステムを棄て、欧州でも独特な存在となった。古英語を体験しながら言語の構造の変化や多様性について学ぶ。 (講義は日本語で行います。)				
< 7月 2日 (土) 15:00~16:30 > 助教 パメラ・テイラー (Pamela TAYLOR)				
第3講: 「The Psychology of Gossip: Why People Can't Stop Talking About Each Other」 More than any other topic, people love to talk about other people. This is called "gossip". Gossip is found in every culture of the world, which indicates that it has an important role in human relationships and communities. However, gossip is often seen as bad because it can be untrue and can hurt the people being talked about. Given its moral downsides, why do humans love to gossip? Why do we like and trust someone more after sharing gossip with them? In this talk, we will discuss the social functions of gossip, as well as the psychological and physiological reasons gossiping feels pleasurable. (講義は英語で行います。)				
< 7月 9日 (土) 15:00~16:30 > 教授 陳 風 (Feng CHEN)				
第4講: 「中国の言語文化の多様性と標準語の特徴」 56の民族と広大な国土を持つ中国の言語文化の多様性と標準語の特徴について社会言語学の視点から学びながら、実際の発音指導などもまじえて、中国語の「魅力」や「面白さ」を「発見」・「体験」してもらう。 (講義は日本語で行います。)				
その他				
テキスト	特になし (担当教員が各講義において、資料を配布することがある。)			
参考文献				
関連科目				
開講日時	6/18 (土)	6/25 (土)	7/2 (土)	7/9 (土)
	15:00~16:30			
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	国際教養大学 電話(入試室): 018-886-5931 (平日9:00~17:00) E-mail: admissionoffice@gl.aiu.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[29] 地域振興と民俗文化との関わり	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 特任教授 鎌田 幸男 (計1名)
授業概要	1960年代の高度経済成長は日本経済の復興に大きな役割を果たしたが、その歴史の変遷経過の概要を理解する。またそれは国民生活にどのような影響を及ぼしたかを考える。そして急速な工業化は、その後深刻な社会問題を表面化させることになる。ここでは都市と地方、特に地方が抱える問題について考える。		
授業方法と留意点	1 日本経済の復興は、産業構造に大きな影響を与えたこと、また国民生活の向上と文化の大衆化に結びついたことを考える。 2 急速な工業化は、都市と地方にどのような影響を及ぼしたか、また変わりゆく社会と日常の暮らし、そして地域振興と民俗文化の関りを考える。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
<6月10日(金) 17:30~19:00>			
第1講: 「日本経済の復興」 高度経済成長の歴史の変遷経過と日本経済の復興について学習する。			
<6月17日(金) 17:30~19:00>			
第2講: 「社会の変化と民俗文化の関わり」 社会の変化と地域振興と民俗文化の関りについて学習する。			
その他			
テキスト	使用しない。講義時に資料を配布する。		
参考文献	講義の時間に紹介する。		
関連科目			
開講日時	6/10(金)	6/17(金)	
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[30] 外国語と文化で学ぶ国際ビジネス	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 教授 坂元 浩一 (計1名)
授業概要	世界規模でのビジネスを現実に即して説明する。筆者の外国語学習 (English et Français、その他)、国際連合など国際機関勤務の経験、フランス・パリなどでのインタビュー、アジアを含む63か国を166回訪問した経験を反映した授業。専門分野は、海外投資論とマーケティング論である。		
授業方法と留意点	プリントを配布する。欧州や東京で収集したカタログや商品の実物も使う。英語と英語以外の欧州の言語 (英語、フランス語、スペイン語など) にも関心のある方の受講を期待する。授業では、東南アジアと中国も扱う。		

授 業 計 画

【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります

< 7月 5日 (火) 17:30~19:00 >

第1講: 「国際ビジネス、特にマーケティングの実際

[大学での講義、欧州・アジアなどでの調査]」

一般論に加えて、多くの事例を取り上げる。例えば、米国のスターバックスやマクドナルド、日本のユニクロや無印良品。主な都市 (パリ、ロンドン、マドリード、ウィーン、東南アジア、中国) の地図を使いながら、サーベイを行う。

< 7月 12日 (火) 17:30~19:00 >

第2講: 「国際ビジネス、特にマーケティングの実際

[大学での講義、パリ、東京での調査]」

他の事例として、ブランド大国フランスの首都パリ。高級チョコレート『王妃マリー・アントワネットのピストル』、『ロレーヌの真珠』など具体的な商品を題材として取り上げる。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	
開講日時	7/5 (火) 7/12 (火) 17:30~19:00
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[31] なぜ学校は必要なのか？ (『脱学校の社会』から)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 准教授 市原 光匡 (計1名)
授業概要	情報化の進展に伴って、学校以外のさまざまな場で知識や技術を獲得できるようになるなか、学校の存在意義が問われています。昔から問われてきたこのテーマについて、イリッチの脱学校論をもとに検討します。		
授業方法 と留意点	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布し、それに沿って授業を進めていきますが、みなさんが議論する時間も持つ予定です。授業のテーマである学校の存在意義について、みなさんなりに考えておいていただきたいと思います。		
授 業 計 画			
【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月 9日 (木) 17:30~19:00 >			
第1講：「教育病理と脱学校論」			
学校の急速な普及・拡大は、多くの国々で教育病理を生じさせ、学校改革や学校そのものの存在意義が問われることとなりました。なかでも、学校制度全体を廃絶するというイリッチの主張を取りあげ議論します。			
< 6月16日 (木) 17:30~19:00 >			
第2講：「なぜ脱学校は実現しないのか？」			
イリッチは、学校に代わる教育の制度も提案しています。彼のことばを借りつつ、脱学校化した社会のイメージを描くとともに、なぜ現実には脱学校化が実現していないのか、なぜ学校が必要とされているのか検討します。			
その他			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	イヴァン・イリッチ『脱学校の社会』[The Deschooling Society] 東洋・小沢周三訳，東京創元社，1977.		
関連科目	公共		
開講日時	6/9 (木)	6/16 (木)	
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[32] 「自分・私」について「考えて」みよう (「私の問題」)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 准教授 西巻 丈児 (計1名)
授業概要	皆さんは、生まれて、学んで、そして、今後働くことになるでしょう。これまであまり考えたことがないかもしれませんが、そもそも生きている「私 (=自分) って何？」という素朴な疑問を、一緒に考えてみませんか。		
授業方法 と留意点	いろいろな問題を提示していきますので、自分の問題として真剣に考えてみましょう。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月 8日 (水) 17:30~19:00 >			
第1講: 「私って何? 本当の私って?」 自分のことを「私」と言いますが、「私」っていったい何なのでしょう。自分の顔をじかに見ることはできるのでしょうか。ありのままの自分とは一体どういうことを意味しているのでしょうか。			
< 6月15日 (水) 17:30~19:00 >			
第2講: 「未知と既知」 知らなかったことを知った時の喜びや新鮮な感じと、既に知っていると思っっていることがよく分かっていないという「知」の曖昧さを実感してみましょう。			
その他			
テキスト	講義資料を配布します。		
参考文献	講義の中で、適時紹介します。		
関連科目	哲学、倫理学、心理学		
開講日時	6/8 (水)		6/15 (水)
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学			
科目名 (サブタイトル)	[33] 日商簿記3級に合格しよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 教授 國井 法夫 (計1名)			
授業概要	6月初めから9回にわたり日本商工会議所簿記検試験3級に合格するための授業を最初から実施します。目標は11月に実施される検定試験に合格することです。とはいえ、簡単には合格しませんのでそのための勉強を普段の勉強と共になさなければなりません。その覚悟をして受講してください。					
授業方法と留意点	やさしく教えますので安心してください。ただ、簿記は実務から出発したものですので練習問題をやり、慣れなければなりません。このため練習問題を何度もやることができる人が合格できます。					
授 業 計 画						
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります						
< 6月10日 (金) 17:30~19:00 >						
第1講: 「簿記の基礎Ⅰ」 まず、簿記4級の範囲をやります。ここでは簿記の基本的な用語の理解、仕訳、総勘定元帳への転記、試算表、損益計算書、貸借対照表等に関する基礎知識を学びます。						
< 6月17日 (金) 17:30~19:00 >						
第2講: 「簿記の基礎Ⅱ」 前回に続き、簿記の基本的な用語の理解、仕訳、総勘定元帳への転記、試算表、損益計算書、貸借対照表等に関する基礎知識を学びます。						
< 6月24日 (金) 17:30~19:00 >						
第3講: 「諸取引の記帳Ⅰ」 この時間から3級の内容に入ります。現金・当座預金・小口現金・仕入・売上・商品有高帳等の会計処理を練習問題とともに学びます。						
< 7月 1日 (金) 17:30~19:00 >						
第4講: 「諸取引の記帳Ⅱ」 手形・減価償却・固定資産台帳・営業費・法定福利費・税金等の処理を学びます。						
< 7月 8日 (金) 17:30~19:00 >						
第5講: 「決算Ⅰ」 決算整理・費用の前払い収益の前受け・費用の未払い・収益の未収等を学びます。						
< 7月15日 (金) 17:30~19:00 >						
第6講: 「決算Ⅱ」 試算表・精算表・損益計算書・貸借対照表の作成を学ぶ。						
その他	持ち物: 必ず電卓を持参してください。					
テキスト	プリントで授業をします。					
参考文献						
関連科目						
開講日時	6/10 (金)	6/17 (金)	6/24 (金)	7/1 (金)	7/8 (金)	7/15 (金)
	17:30~19:00					
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)					
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp					

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[34] 世界史と法学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 教授 佐藤 寛稔 (計1名)
授業概要	法学、政治学、社会学において、国の成り立ちや歴史的な経緯を知ることは必須です。この授業では、近代市民革命期から現代までの歴史をふまえつつ、人と権力のあるべき姿、人の共生について検討します。		
授業方法と留意点	法や政治のさまざまな側面を扱います。中でも、国の成り立ちとの関りが最も深い、「憲法」を思考の軸とします。時事的な話題も取り上げます。新聞やテレビのニュースをよく見ておいてください。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月18日(土) 9:30~11:00 >			
第1講: 「平等にしたい、この世界」			
世の中の「平等」が、本当の意味で平等といえるのかを、クイズ形式で問います。さらに、アメリカ独立宣言、奴隷制度、人種差別など歴史から、多様化が進む現代を見直しましょう。			
< 6月18日(土) 11:10~12:40 >			
第2講: 「本当に正しいの? その法律」			
国の代表者が作った法律を、裁判官がなぜ無効にできるのでしょうか。イギリス、フランス、ドイツ、アメリカの歴史や民主主義の思想から、議会と司法の関係を国際的な視点で学びましょう。			
その他			
テキスト	なし		
参考文献	授業中にプリント等を配布します。		
関連科目	世界史、日本史、現代社会、倫理、政治・経済、法学、政治学、社会学		
開講日時	6/18(土)		
	9:30~11:00	11:10~12:40	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[35] 国際関係論から見るSDGs (国際問題を解決するためのあなたや国の役割とは)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 教授 佐藤 克枝 (計1名)
授業概要	国連の持続可能な開発目標 (SDGs) について、国際関係論の視点から見していきます。現在、国際的に問題となっている事柄 (グローバルイシュー) は何でしょうか。また、これらを解決するためのあなたや日本の役割について一緒に考えていきましょう。		
授業方法 と留意点	プリントを配布して、それに従って授業を進めます。皆さんの意見を聴きながらゼミナール方式で進めますので積極的に参加してください。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月 7日 (木) 17:30~19:00 >			
第1講: 「SDGsを分析する」 SDGsの17項目のうち、環境問題、エネルギー問題、貧困、平和と公正、働きがいと経済成長などについて、現在の国際社会の問題について洗い出していきます。そして、あるべきゴールを一緒に考えます。			
< 7月14日 (木) 17:30~19:00 >			
第2講: 「新しいステージでのあなたや国の役割」 国際問題を解決に導くために、いま、あなたは何ができるでしょうか。また、日本やその他の国は何をしていくべきでしょうか。国際関係論のほか、安全保障学や歴史学、地政学の観点から一緒に考えていきます。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。 (参考として、「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ (国際連合広報局) https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/		
関連科目	政治・経済、公共、地理総合、倫理		
開講日時	7/7 (木)	7/14 (木)	
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[36] 社会政策の基礎 (社会改良のために)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 教授 木村 澄 (計1名)
授業概要	私たちの生きる資本主義社会の本質を理解したうえで、「社会政策」によって人間社会をどのように改良していったらよいかを見ていきます。その範囲は、医療、年金、労災、雇用、介護、労働問題など多岐にわたります。		
授業方法と留意点	社会改良という「社会政策」の本質を明らかにしながら、労働と社会保障に関する法律について講義形式で授業をすすめます。将来、どのような職業であろうと仕事に就こうと考えているすべての人を対象とします。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
<7月26日(火) 17:30~19:00>			
第1講: 「人間社会はどうしたら良くなるのか」 働く人々を守る法律がどのように誕生し、どのようにその役割を果たしているかを考えます。			
<8月 2日(火) 17:30~19:00>			
第2講: 「人間の人生をどのように保障するか」 人の生涯を保障する医療保障制度を始めとする各種の社会保険がいかに機能しているかを見ていきます。			
その他			
テキスト	とくにありません。プリントを配付します。		
参考文献	とくにありません。必要に応じて紹介します。		
関連科目	公民(現代社会、倫理、政治経済)、社会政策、社会保障法、労働法、労働問題ほか		
開講日時	7/26(火)		8/2(火)
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[37] 心理学からみるコミュニケーション (他者を理解し、人間関係を育むために)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 准教授 瀧澤 純 (計1名)
授業概要	コミュニケーションの難しさを乗り越えるための授業です。心理学では別々に論じられている、注意、記憶、表情の読み取り、思い込みの排除などを、コミュニケーションという観点から理解します。		
授業方法 と留意点	できるだけ多くの側面からコミュニケーションについて検討します。講義を聞くだけでなく、その場で体験しながら学びましょう。瀧澤による他の高大連携授業と、内容は重複していません。		
授 業 計 画			
【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月16日(土) 9:30~11:00 >			
第1講：「他者理解の成功と失敗」 表情や言葉を理解しようとしても、失敗することがあります。失敗の原因は、見落とし、もの忘れ、考え方のクセなど、誰もがもつ心理的特性です。顔の画像、会話の失敗例などを題材にします。			
< 7月16日(土) 11:10~12:40 >			
第2講：「人間関係の成功と失敗」 あなたの人間関係はうまくいっていますか？恋愛や友人関係などの失敗は、誰かの性格や考え方を正確に理解できないことから説明できます。ジレンマや葛藤への解決策も示します。			
その他			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	授業中に紹介します。		
関連科目	公民（現代社会、倫理、政治・経済）、公共、認知心理学、社会心理学		
開講日時	7/16(土)		
	9:30~11:00	11:10~12:40	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[38] 大学生が株式会社を作ってみた！ (地方創生、事業機会、会社設立の法制度)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 准教授 石川 雅敏 (計1名)
授業概要	地方創生のためには若者が新しい事業を興していくことが重要です。各地の若者たちによる新規事業の事例とノースアジア大学で設立された(株)さくらの事例を紹介します。		
授業方法と留意点			
授 業 計 画			
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります			
< 8月20日 (土) 13:20~14:50 >			
第1講：「若者たちによる新規事業と地方創生」 各地の若者たちが立ち上げた地方創生を目指した新規事業の試みについて紹介します。			
< 8月27日 (土) 13:20~14:50 >			
第2講：「株式会社さくらの事例紹介」 株式会社さくらは2020年11月に大学生たちによって設立されました。会社設立の発起人集めからインターネット販売の開始までの1年間の(株)さくらの歩みを紹介し、若者たちによる新規事業の可能性と課題を考えます。			
その他			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	授業で紹介します。		
関連科目	社法、ベンチャー企業論		
開講日時	8/20 (土)	8/27 (土)	
	13:20~14:50		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[39] 明日の私はもっといい (ホスピタリティ&コミュニケーション)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 千葉 隆一 (計1名)
授業概要	ビジネスシーンとプライベートライフに役立つコミュニケーション力を学び（磨き）ます。自分を知ること（自己理解）で自信を持てるようになります。自分の最大の敵は自分です。大切なのは心の持ち方です。		
授業方法 と留意点	理論としての「ホスピタリティ・コミュニケーション」を理解し、形として具体的に行動に移し、身に付けていく授業です。ゲームやグループワークをするので、積極的な参加姿勢が求められます。		
授 業 計 画			
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月24日（金）17：30～19：00 >			
第1講：「自分を知る（自己理解）」			
トランプを使って自己理解（自己分析）を行います。自分自身のパーソナリティーを理解することで自身の行動特性や価値傾向を知ることができます。			
< 7月 1日（金）17：30～19：00 >			
第2講：「コミュニケーション技法」			
社会人として必要な資質や能力を身に付け、私生活や将来どんな仕事に就いても役に立つコミュニケーション力を学び（磨き）ます。そして、人生をもっと楽しく有意義なものにするための考え方を身に付けられます。			
その他			
テキスト	テキストは使用しません。資料は当日配布します。		
参考文献	適時紹介します。		
関連科目			
開講日時	6/24（金）	7/1（金）	
	17：30～19：00		
会場	カレッジプラザ（秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階）		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337（平日9：00～17：00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[40] 看護・介護のコミュニケーション学 (この仕事でほんとうの自分になるう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 千葉 隆一 (計1名)
授業概要	最新設備と技術が整った病院や老人介護施設でも、求められるのは患者さんや入所者さんとのより良いコミュニケーションです。患者さん入所者さん、スタッフ同志の人間関係の構築 (communication) について考察します。		
授業方法 と留意点	理論としての「コミュニケーション」を理解し、形として具体的に行動に移し、身に付けていく授業です。ゲームやグループワークをするので、積極的な参加姿勢が求められます。		
授 業 計 画			
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります			
<6月25日(土) 9:30~11:00>			
第1講: 「第一印象 (出会いの瞬間を大切に)」			
患者さんや入所者さんとのより良いコミュニケーションに大切なのは何でしょうか?それは第一印象です。第一印象の悪い看護師や介護士に心まで預ける気持ちになるのでしょうか。人の印象はどのようにして決まるか、言葉によらない (ノンバーバル) コミュニケーションの重要性などについて考察します。			
<6月25日(土) 11:10~12:40>			
第2講: 「コミュニケーション技法 (積極的、創造的なアプローチのために)」			
病院や老人施設は女性の多い職場であり人間関係で悩んだり私生活で落ち込んだりすると良いサービスは提供できません。良いサービスを提供するためには自分自身及び自分の仕事に自信を持つことが何よりも大切です。ビジネスシーンとプライベートライフを充実させるために。			
その他			
テキスト	テキストは使用しません。資料は当日配布します。		
参考文献	適時紹介します。		
関連科目			
開講日時	6/25 (土)		
	9:30~11:00	11:10~12:40	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[41] 旅 エアラインビジネス	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 千葉 隆一 (計1名)
授業概要	人はいつから旅をするようになったのか。航空は21世紀の旅行・観光・輸送を支える基幹産業の一つです。この講義は「旅」と人・モノ・文化の交流を担う「エアライン（航空）ビジネス」について概観します。		
授業方法と留意点	就職は学生にとって最大の関心事と言えます。我が国の観光立国政策と航空業界のすがた、エアライン（航空）ビジネスについて学び、将来エアライン（航空）ビジネスを担う人材の育成に繋がることを願っています。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月 2日（土） 9：30～11：00 >			
第1講：「観光立国」			
観光は地域経済の活性化や雇用の創出に貢献することから、政府は「観光立国」を掲げて様々な施策に取り組んでいます。我が国の観光の現状と展望について概説します。			
< 7月 2日（土） 11：10～12：40 >			
第2講：「エアライン（航空）の現状と展望」			
航空の基礎知識、航空会社の仕事について概説します。			
その他			
テキスト	テキストは使用しません。資料は当日配布します。		
参考文献	適時紹介します。		
関連科目			
開講日時	7/2（土）		
	9：30～11：00	11：10～12：40	
会場	カレッジプラザ（秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階）		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337（平日9：00～17：00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[42] 文学でたどる世界遺産の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 橋元 志保 (計1名)
授業概要	ご一緒に、美しい世界遺産と文学をめぐる旅に出かけてみませんか。今回は、世界遺産の中でも人気の高い、日本の古都京都や、イギリスのロンドン、イタリアのヴェローナを中心に、文学との関わりをわかりやすくお話しします。		
授業方法と留意点	パワーポイントを使用して、美しい都市の景観や文化財を楽しみながら、文学との関連性を学んでいきます。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
< 8月 6日 (土) 13:00~14:30 >			
第1講: 「古都京都の文化財と『源氏物語』のヒロインたち」 千年の都」と称えられる京都は、日本的な美を象徴するかのような建築・文化財の宝庫です。そんな京都を旅しながら、『源氏物語』のヒロインたちの様々なストーリーを楽しんでみませんか。			
< 8月 6日 (土) 14:45~16:15 >			
第2講: 「シェイクスピアのロンドンと 『ロミオとジュリエット』のヴェローナ」 今もなお、世界中で読まれている究極のラブ・ストーリー、『ロミオとジュリエット』。物語の舞台となった美しいイタリアの古都ヴェローナを旅しながら、シェイクスピアの作品について楽しく学んでいきましょう。			
その他			
テキスト	授業時に資料を配布します。		
参考文献			
関連科目	日本史・世界史・文学国語		
開講日時	8/6 (土)		
	13:00~14:30	14:45~16:15	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[43] 『鬼滅の刃』の世界観	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 橋元 志保 (計1名)
授業概要	わたしたちは何故、炭治郎をはじめとする鬼狩りの少年たちの物語に、これほど惹きつけられるのでしょうか。本講義では、『鬼滅の刃』における名場面の意味を読み解きながら、鬼と人の文化史について学んでいきます。		
授業方法 と留意点	パワーポイントを使用して、『鬼滅の刃』の名場面を楽しみながら、日本史や文学との関連性を学んでいきます。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
< 8月19日 (金) 17:30~19:00 >			
第1講：「『鬼滅の刃』における鬼」			
鬼の歴史は古く、大和朝廷の時代にまでさかのぼることが出来ます。しかし、鬼舞辻無残が生まれた平安時代は最も鬼たちが暗躍した時代でした。『鬼滅の刃』における鬼の特色について見ていきましょう。			
< 8月26日 (金) 17:30~19:00 >			
第2講：「鬼狩りたちの系譜」			
無限列車編で、鬼との壮絶な戦いを繰り広げた煉獄杏寿郎を支えた思想は何だったのでしょうか。『鬼滅の刃』の根底に息づく武士の精神について、数々の名場面を見ながら、読み解いていきます。			
その他			
テキスト	授業時に資料を配布します。		
参考文献			
関連科目	日本史・文学国語		
開講日時	8/19 (金)	8/26 (金)	
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[44] ディズニーランドから学ぶ アフターコロナの観光学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 准教授 井上 寛 (計1名)
授業概要	東京ディズニーランドは千葉県浦安市にあるどんな人が訪れても楽しむことができる人気のテーマパークです。その秘密は一体どこにあるのでしょうか？観光学の視点から学んでみましょう。		
授業方法 と留意点	パワーポイントの映像やガイドブックを見ながら、観光学についてわかりやすく説明します。資料は当日配布します。		
授 業 計 画			
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月 8日 (金) 17:30~19:00 >			
第1講：「ディズニーのキャラクターはホンモノかニセモノか!？」 ディズニーランドは大人も子供もみんなが楽しむことができるテーマパークです。ディズニーランドにいるキャラクターはホンモノなのかニセモノなのか!?観光学の視点から学びます。			
< 7月15日 (金) 17:30~19:00 >			
第2講：「ディズニーランドから学ぶアフターコロナの観光」 新型コロナウイルスのパンデミック以前は世界中から観光客が集まったディズニーランド。そこには観光に役立つヒントがたくさんありました。そのヒントを学ぶことは、アフターコロナの観光学を知ることができます。			
その他			
テキスト	毎時間資料を配布します。		
参考文献	授業内で紹介します。		
関連科目	地理総合、地理探求 公共(現代社会)、 政治・経済		
開講日時	7/8 (金)		7/15 (金)
	17:30~19:00		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[45] ジブリアニメの舞台からみた SDGsの観光学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 准教授 井上 寛 (計1名)
授業概要	SDGsは国連加盟193か国が2030年までの15年間で達成するために掲げた目標です。SDGsと観光学はどのように関係があるのでしょうか。ジブリアニメに登場する場面をみながら一緒に考えてみましょう。		
授業方法 と留意点	ジブリアニメの映像を見ながら、SDGsと観光学についてわかりやすく説明します。地図などの資料は当日配布します。		
授 業 計 画			
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月11日(土) 9:30~11:00 >			
第1講: 「ジブリアニメの舞台からみた「海の豊かさ」」 ジブリアニメ「魔女の宅急便」「海が聞こえる」「コクリコ坂から」そして「崖の上のポニョ」には、作品中に港町そして海を舞台に描かれています。作品を旅しながら、観光学の視点から「海の豊かさを守ろう」について学びましょう。			
< 6月11日(土) 11:10~12:40 >			
第2講: 「ジブリアニメの舞台からみた「環境」」 ジブリアニメでは、「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」「もののけ姫」「平成狸合戦ぽんぽこ」そして「となりのトトロ」と環境について学ぶことのできる作品はたくさんあります。作品を旅しながら観光学の視点から環境について学びましょう。			
その他			
テキスト	毎時間資料を配布します。		
参考文献	授業内で紹介します。		
関連科目	地理総合、地理探求 公共(現代社会)、政治・経済		
開講日時	6/11(土)		
	9:30~11:00	11:10~12:40	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話: 018-836-4337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田看護福祉大学	
科目名 (サブタイトル)	[46] ようこそ看護学の世界へ (さあ、奥深い看護学の扉を開けよう！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護福祉学部 看護学科 教授 小玉 光子 (計4名)	
授業概要	人々の健康や生命を守る看護の本質に触れながら、看護を必要とする方たちの健康と生活を支援する看護学の魅力を紹介します。看護学科の専門領域の授業を通して、看護学の今後の可能性を高校生の方々と共に考えていきます。			
授業方法と留意点	大学で行っている「看護学」の講義や演習を身近に感じてもらうために、受講者参加型の講義と演習で構成し、有意義な授業となるよう努めます。			
授 業 計 画				
【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります				
<7月16日(土) 12:00~13:30> 教授 小玉 光子				
第1講: 「認定看護師が伝える皮膚の大切さ ～高齢者のスキンケアを学ぶ～」				
看護師の中にはさらに専門的な知識を身につけた「認定看護師」がいます。ここでは、 <u>スキンケア</u> の知識をもつ認定看護師と一緒に、皮膚の脆弱な人、特に高齢者に発生する <u>スキンケア</u> について学びましょう。				
<7月16日(土) 13:45~15:15> 講師 藤田 碧				
第2講: 「あらゆるいのちの健やかな生き方を支える ～公衆衛生看護の魅力～」				
世の中には赤ちゃんからお年寄りまで、元気な人から医療機器を使いながら暮らす人まで、あらゆる健康段階の人がいます。みんながより健やかに、そして夢や希望をかなえたり役割を果たしながら生きることを支えるために、健康という切り口から人々と出会う公衆衛生看護の活動の一端をお伝えします。				
<8月20日(土) 12:00~13:30> 助教 菅原 富貴子				
第3講: 「気づく力で安全を守ること」				
人間の特性から医療の現場で起こるリスクの要因について考え、演習を取り入れながら「安全を守る」ことについてお話しします。				
<8月20日(土) 13:45~15:15> 助教 伊藤 洋介				
第4講: 「赤ちゃんの身体計測 ～計測の技術とアセスメントについて学ぼう～」				
赤ちゃんの身体計測は、発達のアセスメントや評価を行う際に重要となってきます。赤ちゃんの特性を考えながら、身体計測の技術について一緒に学んでいきましょう。				
その他	この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所: 大館市清水2丁目3-4			
テキスト	適宜資料を配布します。			
参考文献				
関連科目	基礎看護学、老年看護学、小児看護学、公衆衛生看護学			
開講日時	7/16 (土)		8/20 (土)	
	12:00~13:30	13:45~15:15	12:00~13:30	13:45~15:15
会場	秋田看護福祉大学			
欠席連絡先	電話: 0186-45-1721 (平日8:30~17:10) E-mail: conso@well.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田看護福祉大学	
科目名 (サブタイトル)	[47] 医療と福祉の探究		科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護福祉学部 医療福祉学科 准教授 石岡 和志 (計4名)
授業概要	高齢者や障害者が住みなれた地域で普通に暮らすために、医療と福祉の連携・充実の重要性が増しています。本授業では、現代社会が抱える課題を医療や福祉の視点から考え、その実践を学ぶとともに、医療や福祉の魅力について考え知る機会とします。			
授業方法と留意点	医療や相談援助の現場での実践的な課題を提示し、授業参加者とともにその解決について考えていきます。積極的な参加を期待します。			
授 業 計 画				
【募集定員人数30名】先着順で募集を締め切ります				
<7月16日(土) 12:00~13:30> 助教 小野 聡子				
第1講：「社会保障って何だろう」 社会保障と聞くと、わかりにくく、身近なものではないように感じているかもしれません。この講義を通して、社会保障と日々の私たちの生活の繋がりについて一緒に考えていきましょう。				
<7月16日(土) 13:45~15:15> 教授 水木 暢子				
第2講：「医療と福祉の連携 ～命に寄り添う福祉職の役割～」 チーム医療や多職種連携の重要性が高まっている中で、在宅療養の場や介護老人福祉施設などでは、医療的ケアを必要とする方に対する、生命を維持していくために必要な医行為を福祉職が担うことも増えてきています。医療的ケア技術の一部を体験しながら、今後期待される福祉職の役割を皆さんと一緒に考えます。				
<8月20日(土) 12:00~13:30> 准教授 石岡 和志				
第3講：「地域福祉の実践～誰も見捨てない！ 引きこもり者の自立を支援する取り組みPart2～」 地域における引きこもり者や障害者等に対する支援について、社会福祉協議会の実践内容を紹介しながら、その取り組みや今後のあり方を考えます。前回の講義に引き続き、地域福祉の実践を様々な角度からとらえていきます。				
<8月20日(土) 13:45~15:15> 助教 田中 誠				
第4講：「病院は人生の縮図である」 「福祉とは何か」「ソーシャルワーカーはどんな仕事をする人か」「重度の障がい者も誰かの役に立っている」等について、事例を基に高校生の皆さんとともに考えていきます。				
その他	この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所：大館市清水2丁目3-4			
テキスト	適宜資料を配布します。			
参考文献				
関連科目	医療福祉学・社会福祉学・精神保健福祉学・障害者福祉学			
開講日時	7/16 (土)		8/20 (土)	
	12:00~13:30	13:45~15:15	12:00~13:30	13:45~15:15
会場	秋田看護福祉大学			
欠席連絡先	電話：0186-45-1721 (平日8:30~17:10) E-mail：conso@well.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	日本赤十字秋田看護大学
科目名 (サブタイトル)	[48] 高校生のための看護学入門 (「生きる」を支える人になる)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護学部 看護学科 講師 新沼 剛 (計2名)
授業概要	各専門領域の看護を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。		
授業方法 と留意点	講義はオムニバス形式で下記の担当者が行います。		
授 業 計 画			
【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月29日 (金) 17:30~19:00 >			
第1講: 「在宅の場で必要とされる看護(師)とは?」 助手 岩澤 敦史			
看護が必要とされる場は病院内だけではなく人々の住む地域へと広がっています。 様々な場で活躍する看護師について理解を深めていきましょう。			
< 8月 6日 (土) 13:30~15:00 >			
第2講: 「子どもと家族の看護」 准教授 大高 恵美			
子どもと家族の健康促進または健康問題の解決にむけて様々な支援を行う看護職(助産師・保健師・ 看護師)の役割と連携について学びます。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	7/29 (金)	8/6 (土)	
	17:30~19:00	13:30~15:00	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	日本赤十字秋田看護大学 電話: 018-829-2229 (平日9:00~17:00) E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[49] 絵であそぶ 絵でまなぶ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 アーツ&ルーツ専攻 准教授 村山 修二郎 (計1名)
授業概要	絵を介して思い切って遊びましょう。絵は堅苦しいものでも何でもなく自由自在。外に出て自然を感じながら表現する芸術的活動から五感を刺激、感性を呼び起こすように体感的に絵を学びます。		
授業方法 と留意点	野外に出て活動をするため、天候次第で臨機応変に授業を変容していきます。服装も動きやすく汚れても良いもので。今までの美術の絵を学ぶ授業とは異なる内容なので、楽しく活発に参加出来る人を望みます。		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p><7月 2日 (土) 13:30~15:00></p> <p>第1講：「絵であそぶ 絵でまなぶ」</p> <p>スライドで導入／室内</p> <p>外に出て、自然物と対話（グラウンド・芝生境界）触れる、かおり、音、色→気付き、発見。</p> <p>創作活動（描くこと、つくること、動くことなど）／野外</p> <p><7月 2日 (土) 15:15~16:45></p> <p>第2講：「絵であそぶ 絵でまなぶ」</p> <p>創作活動（描くこと、つくること、動くことなど）／野外</p> <p>まとめ、振り返り／室内</p>			
その他	<p>持ち物：水筒（水分補給のため）、タオル、空のペットボトル（2リットルの容器を1つ、ラベルを剥がして持参してください）、筆記用具</p> <p>服装：私服で、動きやすく汚れてもよいものでお越してください。（服装は、動きやすいものであれば何でもかまいません）</p>		
テキスト	必要に応じて大学で準備します		
参考文献			
関連科目			
開講日時	7/2 (土)		
	13:30~15:00	15:15~16:45	
会場	秋田公立美術大学 講義室3、野外		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478（平日8:30~17:15） E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[50] 心理学からみる・読む美術 (作品の解釈から芸術療法まで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 ビジュアルアーツ専攻 教授 曾根 博美 (計1名)
授業概要	美術は「見る」もの？ いいえ、「見る」だけではありません。美術を見るとき、私たちは本当は何を見ていて、作品は私たちの心理にどんな影響を与えているのでしょうか。この授業では心理学の知見を交えつつ、様々な美術作品・事例を通して、美術表現の広がりをご紹介します。		
授業方法と留意点	講師と参加者が対等に意見を出し合うことができる授業です。積極的な発言を期待しています。		

授 業 計 画

【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります

<7月16日(土) 13:20~14:50>

第1講：「イメージの隠された意味をよむ -仏像からバンクシーまで-

美術作品には、洋の東西を問わず、様々なシンボル、メタファー、アレゴリー、アトリビュートが用いられてきました。1時間目はこれらを解説しつつ、さまざまな絵や彫刻に託されたメッセージを一緒に読み解きます。美術史を学び、作品を鑑賞する楽しさを体験してみましょう。

<7月16日(土) 15:00~16:30>

第2講：「美術と心理」

人間心理と美術、イメージは深く関わっています。心理学の成果から、その関わりを美術・デザインを通じて辿ります。後半では、芸術療法（アートセラピー）を体験してみましょう。

その他	持ち物：筆記用具		
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	7/16(土)		
	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478 (平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡 (日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[51] 音と映像を操作するメディアアート	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 ビジュアルアート専攻 准教授 萩原 健一 (計1名)
授業概要	デジタルテクノロジーを活用し、録音・撮影した音と映像を素材にメディアアート作品を制作します。講座の最後には発表会をおこないます。		
授業方法と留意点	個人または複数人のグループによって制作します。グループ人数は参加人数によって変化します。		
授 業 計 画			
【募集定員人数12名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月 2日 (土) 13:20~14:50 >			
第1講：「視聴覚メディア表現を知る」			
デジタルテクノロジーを用いた作品事例と社会とのつながりを紹介し、メディアアート表現の基礎に触れます。その後、作品に使用する機材の基本的な使いかたを学びます。			
< 7月 2日 (土) 15:00~16:30 >			
第2講：「視聴覚メディア作品をつくる」			
習得した技術を用いて、自分のアイデアをもとに作品を制作し、完成した作品を発表します。			
その他	指定する持ち物はありません。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	7/2 (土)		
	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478 (平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡 (日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[52] 作ってたのしい・使ってうれしい漆椀! (蒔絵のオリジナル漆椀を作って、使ってみましょう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 ものづくりデザイン専攻 准教授 熊谷 晃 (計1名)
授業概要	朱塗りの漆椀に図案を転写し、金粉で蒔絵表現を体験します。後日、漆椀を持ち帰り、実際に家で使い、その写真をもとに簡単な発表をしてもらいます。作品は11月の工芸エキスポ秋田で展示する予定です。		
授業方法 と留意点	工芸品を実際に作り、使用する事で「用の美」を感じてもらいたいと考えています。 <u>アレルギー体質等肌が敏感な方は、まれに漆かぶれがありますので、注意してください。</u>		
授 業 計 画			
【募集定員人数12名】先着順で募集を締め切ります			
< 8月 6日 (土) 13:20~14:50 >			
第1講: 「漆椀に蒔絵の技法で文様表現を体験 1」 漆椀に好きな図案を蒔絵の技法で表現します。 (1、図案を考える 2、図案を椀に転写する)			
< 8月 6日 (土) 15:00~16:30 >			
第2講: 「漆椀に蒔絵の技法で文様表現を体験 2」 第1講に続き、漆椀に好きな図案を蒔絵の技法で表現します。 (3、漆で図案を描く 4、金粉を蒔き付けて完成) *8月9日~12日の間に大学にお椀を取りに来ていただくか、郵送になりますので、お知らせください。			
< 8月20日 (土) 13:20~14:50 >			
第3講: 「漆椀を使用した報告会」 前回制作した蒔絵の漆椀を自宅に持ち帰り、実際に使用してみます。その使っている写真をスマホで撮り、画像と簡単な料理のレシピを熊谷宛にメールしてもらいます。授業ではどんな料理や菓子などを盛りつけて使用したのか、簡単に発表してもらいます。お椀も持参してください。			
その他	材料・道具等はすべてこちらで準備します。エプロンや作業着など、汚れても良い服装で来ててください。		
テキスト	図案等参考資料は準備します。自分で考えた図案等があれば持参してください。		
参考文献			
関連科目			
開講日時	8/6 (土)		8/20 (土)
	13:20~14:50	15:00~16:30	13:20~14:50
会場	秋田公立美術大学 漆実習室		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 電話: 018-888-8105 (平日8:30~17:15) E-mail: kyomu@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡 (日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[53] デザインのマジック (たのしいデザインにはタネがある)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 コミュニケーションデザイン専攻 准教授 石川 昌 (計1名)
授業概要	演習と講義を交えながら、デザインの周辺やクリエイティブの核となる視点とマインドを学びます。特にビジュアルコミュニケーションの観点から、色とカタチが生み出す視覚効果について体験し理解します。		
授業方法 と留意点	優しく楽しく、少しの「！」を交えて、デザインと感情の関係に気づきます。		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>< 8月27日 (土) 11:10~12:40 ></p> <p>第1講：「どうして汚い色がつくれない！？」 平塗りの技法を使って色の対比について学びます。</p> <p>< 8月27日 (土) 13:20~14:50 ></p> <p>第2講：「カタチは口ほどにモノを言う！？」 感情を生み出すカタチの対比について学びます。</p> <p>< 8月27日 (土) 15:00~16:30 ></p> <p>第3講：「アイデアの作り方」 日常に潜むデザインやクリエイティブのアイデアについて学びます。</p>			
その他	<p>持ち物：筆記用具、定規（30センチ）、 書籍1冊（自分なりにデザインが好きだなと感じる本。漫画、画集、絵本含む。図書館本可）</p> <p>8/27（土）は昼食を持参ください。（昼食時間 12:40~13:20）</p>		
テキスト			
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	8/27 (土)		
	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	秋田公立美術大学 グラフィックデザイン室		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 電話：018-888-8105（平日8:30~17:15） E-mail: kyomu@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡（日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに）		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[54] 建築のくかたち	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 景観デザイン専攻 准教授 井上 宗則 (計1名)
授業概要	建築や都市は、目で見えて把握することができるくかたちを伴って私たちの前に現れてきます。このくかたちがどのようにして生み出されたのか、その背後にある原理を国内外の事例をもとに解説し、これからの建築や都市をデザインする方法を考えます。		
授業方法と留意点	座学を中心としつつ、個人ワークを行う予定です。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります			
<6月25日(土) 13:20~14:50>			
第1講：「建築のくかたちを発見する」			
都市や建築が何らかのくかたちを有していることは、当たり前のことではありますが、それゆえ見過ごしがちです。第1講では、身近にある都市や建築のくかたちを発見する視点の体得を目指します。			
<6月25日(土) 15:00~16:30>			
第2講：「建築のくかたちをつくる」			
都市や建築のくかたちがどのようにして生み出されているのかを、国内外の優れた事例を通して学びます。くかたちの原理を知ることは、これからの都市・建築を考えることにつながっていきます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	6/25(土)		
	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478 (平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡 (日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[55] 楽しいCGプログラミング (プログラミングによるアート表現を体験！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術教育センター 教授 野村 松信 (計1名)
授業概要	コンピュータ画面に図形を描くことは、方眼紙の上にイラストを描くことに似ています。本授業では、デザイナーやアーティスト向けに開発されたプログラム言語「Processing」を使って、アニメーションやインタラクティブな作品の制作に挑戦します。		
授業方法 と留意点	プログラミングにより新しいアイデア、イラストやアニメーションを簡単に表現できることを体験し、プログラミングによる様々な表現や楽しさを知ってもらいます。 留意点は、キーボードの操作に慣れていることです。		
授 業 計 画			
【募集定員人数15名】 先着順で募集を締め切ります			
< 7月 9日 (土) 13:20~14:50 >			
第1講：「CGプログラミング入門」			
まず、Processingの基本的な操作方法等を紹介します。次に、プログラミングで簡単なイラスト等を描画することを体験します。(1.プログラミングとは/ 2.Processingとは/ 3.Processingの基本操作とサンプル作品紹介/4. 基本的な図形描画等)			
< 7月 9日 (土) 15:00~16:30 >			
第2講：「CGプログラミング演習&プレゼンテーション」			
前講を発展させた内容です。最後に、受講者の皆さんが自由に作成した作品(プログラム)を発表(プレゼン)します。(1.アニメーション表現/ 2.インタラクティブ表現/ 3.作品制作/ 4.作品の発表)			
その他	持ち物：ノート&筆記用具、USBメモリ (1GB以上、サンプルプログラムや自分の作品などを保存し、持ち帰ってもらいます)		
テキスト	講義内容とProcessing操作マニュアルをプリント教材で配布します。		
参考文献	「Processingをはじめよう」 Casey Reas, Ben Fry 著 (オライリー・ジャパン)		
関連科目			
開講日時	7/9 (土)		
	13:20~14:50	15:00~16:30	
会場	秋田公立美術大学 CP1室		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 企画課 電話：018-888-8478 (平日8:30~17:15) E-mail: kikaku@akibi.ac.jp 前日までに欠席連絡 (日曜日開催の授業の場合は、金曜日までに)		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	聖霊女子短期大学	
科目名 (サブタイトル)	[56] ようこそ保育の道へ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 生活こども専攻 講師 石井 美和子 (計4名)	
授業概要	生活こども専攻で開講されている授業「実習指導」「表現」「幼児理解」「乳児保育」の授業の中から下記の内容で授業を行います。			
授業方法と留意点	講義と演習を組み合わせることで高校生に分かりやすく授業をしますので楽しみにして参加してください。			
授 業 計 画				
【募集定員人数20名】先着順で募集を締め切ります				
<7月27日(水) 13:00~14:30> 講師 石井 美和子				
第1講:「ようこそ保育の道へ」 意外に知られていない幼児教育の歴史や成り立ちを知り、子どもとは、保育とは、保育者とはなどについて一緒に考えて、乳児の遊びを実際に体験してみましょう。				
<7月27日(水) 14:45~16:15> 講師 藤田 洋子				
第2講:「見て、聞いて、遊んで、楽しむ子どもの世界」 子どもは遊びが大好きです。「遊びたい」「もっと遊んでみたい」の心が弾む、幼児の遊びを体験しましょう。				
<7月28日(木) 13:00~14:30> 教授 織田 栄子				
第3講:「子どもを援助する」 絵を使って、子どもと仲良くしましょう。				
<7月28日(木) 14:45~16:15> 講師 佐藤 眞由子				
第4講:「子どもと楽しむ、うたあそびと合奏」 音楽に合わせて手話ソング、手遊び、手合わせ遊びを楽しみましょう。様々な楽器でリズムに乗って演奏してみましょう。				
その他	7/27(水)~28(木) この授業は聖霊女子短期大学を会場に開講します。			
テキスト	配付資料			
参考文献				
関連科目	実習指導、表現、幼児理解、乳児保育			
開講日時	7/27(水)		7/28(木)	
	13:00~14:30	14:45~16:15	13:00~14:30	14:45~16:15
会場	聖霊女子短期大学 CB02 住所:秋田市寺内高野10-33 ※秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円)			
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話:018-845-4111(平日9:00~17:00) E-mail:tandaijimu@akita-seirei.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	聖霊女子短期大学	
科目名 (サブタイトル)	[57] 食品と栄養の基礎知識 (栄養士、管理栄養士、栄養教諭の仕事を理解するために)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 健康栄養専攻 教授 高山 裕子 (計5名)	
授業概要	栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、食品衛生学、給食管理、調理学といった分野について、基礎的で簡単な実験や演習も取り入れながら解説。各講義で栄養士、管理栄養士、栄養教諭の業務と講義の関連についても説明。			
授業方法と留意点	授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する正しい知識を伝え、食生活に興味を持ってもらうことである。資料は講義前にプリントとして配付する。筆記用具を持参してほしい。第1～第5講のうち、第4講と第5講は聖霊女子短期大学で行う。			
授 業 計 画				
【募集定員人数24名】先着順で募集を締め切ります				
<6月18日(土) 13:30～15:00> 講師 浅野 純平				
第1講：「健康と栄養」 身体と栄養素について学び、実際に体組成計（体重計に筋肉量の測定機能がついた計器）を用いて自己の身体を把握し、栄養状態について考えます。また、スポーツ栄養学の基礎を学習します。				
<6月25日(土) 13:30～15:00> 教授 熊谷 昌則				
第2講：「おいしさの科学」 見た目や匂い、味、そして食感などで感じる食品のおいしさとは何かについて学習します。また、おいしいと感じる私たちのカラダの働きについても学習します。				
<7月9日(土) 13:30～15:00> 講師 豊嶋 瑠美子				
第3講：「食品の栄養と成分」 身近な食品の栄養素を知り、間食のポイントやお菓子のエネルギーを栄養計算しながら学びましょう。				
<7月16日(土) 13:00～14:30> 講師 伊藤 雅子				
第4講：「給食を提供するということ」 給食を提供する対象者によって栄養士の仕事は多岐にわたっています。安全でおいしい食事を提供する方法について学びましょう。 (会場：聖霊女子短期大学、集団調理の機器見学含む)				
<7月16日(土) 14:30～16:00> 教授 高山 裕子				
第5講：「こどもの食と栄養」 こどもの健やかな成長・発達に欠かせない食と栄養について学びます。そして「幼児向けのおやつ」を作ってみます。 (会場：聖霊女子短期大学、調理実習のためにエプロン・三角巾持参すること)				
その他	7/16(土)の第4・5講は聖霊女子短期大学を会場に開講します。 持参品：7/16(土) エプロン・三角巾			
テキスト	配付資料			
参考文献	定めない			
関連科目	生物 化学 家庭科 保健体育			
開講日時	6/18(土)	6/25(土)	7/9(土)	7/16(土)
	13:30～15:00			13:00～14:30 14:30～16:00
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明徳館ビル2階)		聖霊女子短期大学 P201、試食室・調理室 住所：秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円))	
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 電話：018-845-4111 (平日9:00～17:00) E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	日本赤十字秋田短期大学
科目名 (サブタイトル)	[58] 身近な社会福祉の問題を考えてみよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	介護福祉学科 教授 土室 修 (計2名)
授業概要	私たちが暮らす地域の中にはどのような福祉課題があるのか、それらの解決に向けてどのような仕組みづくりがなされているかについて解説していきます。		
授業方法と留意点	主に講義形式で授業を行います。		
授 業 計 画			
【募集定員人数18名】先着順で募集を締め切ります			
< 7月27日 (水) 13:00~14:30 >			
第1講: 「秋田の地域が抱える福祉課題について」			
教授 土室 修			
秋田の福祉に関する話題を取り上げ、その背景や現状を解説していきます。			
< 7月27日 (水) 14:45~16:15 >			
第2講: 「秋田における介護福祉の課題」			
准教授 藤沢 緑子			
秋田における介護福祉の状況や課題、介護の職場の現状、介護の仕事の特徴（魅力や大変さなど）などについて解説していきます。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	7/27 (水)		
	13:00~14:30	14:45~16:15	
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	日本赤十字秋田短期大学 電話: 018-829-2229 (平日9:00~17:00) E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	聖園学園短期大学		
科目名 (サブタイトル)	[59] 楽しく学べる保育科入門 (子どもとともに歩む保育を目指す)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	保育科 教授 永井 博敏 (計5名)		
授業概要	聖園学園短期大学保育科で開設している保育関連科目を複数の教員がオムニバス方式で紹介し、保育に関する興味・関心を高めるとともに、保育科短大での学習活動に対する理解を深めます。				
授業方法 と留意点	講義科目や演習科目を組み合わせながら、簡単な理論と実際の動きを融合させた授業の展開を図ります。子どもや保育・幼児教育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要としません。				
授 業 計 画					
【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります					
< 6月 7日 (火) 17:00~19:00 > 教授 永井 博敏					
第1講: 「子どもと自然」 『あれっ?』 から始まる繰り返しの遊び					
< 6月14日 (火) 17:30~19:00 > 教授 内藤 裕子					
第2講: 「幼児体育」 心ワクワク! 運動遊び					
< 6月21日 (火) 17:30~19:00 > 准教授 東海林 美代子					
第3講: 「音楽の理論と合奏」 音楽は リズム・メロディー・ハーモニー					
< 6月28日 (火) 17:30~19:00 > 教授 白山 雅彦					
第4講: 「教育制度」 秋田県の保育・幼児教育の変遷と“聖園”の役割					
< 7月 5日 (火) 17:30~19:00 > 准教授 蛭田 一美					
第5講: 「幼児指導法」 保育士の魅力~子どもの素敵さの発見から					
その他					
テキスト					
参考文献					
関連科目					
開講日時	6/7 (火)	6/14 (火)	6/21 (火)	6/28 (火)	7/5 (火)
	17:30~19:00				
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)				
欠席連絡先	聖園学園短期大学 電話: 018-862-0337 (平日9:00~17:00) E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp				

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田職業能力開発短期大学校	
科目名 (サブタイトル)	[60] 建物スケッチパース入門 (透視図の描き方、活かし方)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	住居環境科 准教授 大根 律久 (計1名)	
授業概要	2次元ではイメージしにくく伝わりにくい空間をわかりやすく伝えることができます。特に手書きで立体的に表現することでその手法を理解することができればCGとは違った温かみのある伝え方ができるようになります。また、建設業界に携わるすべての職種の人たちとの情報共有ツールとして活用できます。			
授業方法と留意点	建物の外観やインテリア（内装）のイメージを手書きの立体図面で描き上げます。さらにイメージしやすいように着色しますので 色鉛筆（12色）をご持参 ください。			
授 業 計 画				
【募集定員人数15名】先着順で募集を締め切ります				
< 8月 8日 (月) 9:30~11:00 >				
第1講：「透視図とは何か」 透視図で描かれた絵画を例に透視図の種類や用語について解説します。				
< 8月 8日 (月) 11:10~12:40 >				
第2講：「アイソメトリック・アクソメトリック図法について」 投影図法の一つであるアイソメ図、アクソメ図の描き方を指導します。どこでも簡単に相手に立体的に表現し伝えることができるようになります。				
< 8月 8日 (月) 13:20~14:50 >				
第3講：「2点透視図の描き方」 自分の目線で建物の形を立体的に表現する方法を指導します。描き方のコツをつかめば、自分がイメージした建物の外観や内観を表現することができるようになります。				
< 8月 8日 (月) 15:00~16:30 >				
第4講：「着色の方法」 自分で描いた透視図に色をつけることでさらに表現の幅が広がります。色鉛筆での着色の方法を実践します。				
その他	8/8 (月) は昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)			
テキスト	自作テキスト			
参考文献				
関連科目	インテリア設計実習・居住プレゼンテーション			
開講日時	8/8 (月)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	秋田職業能力開発短期大学校 224教室 住所：大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)			
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 電話：0186-42-5600 (平日9:00~17:00) E-mail: akita-college03@jeed.go.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田職業能力開発短期大学校	
科目名 (サブタイトル)	[61] プログラムによるロボット制御 (作成したプログラムでロボットを自由に操ろう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 教授 遠藤 裕之 (計1名)	
授業概要	ロボットを構成する回路から、そのロボットをプログラムにて制御することを学びます。ロボット制御プログラムについては、自動走行と無線コントローラを用いての2通りでの制御を行います。			
授業方法 と留意点	実習を取り入れながら授業を行っていきます。各種測定器等を用いることで、ロボットの動作原理に迫ります。また、プログラムにおいては、自由にロボットを制御するプログラムを作成する時間を設けます。			
授 業 計 画				
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります				
< 8月 9日 (火) 9:30~11:00 >				
第1講: 「電気・電子回路」 今回使用するロボットの構成要素を学びます。ロボットの構成するモータ、モータドライバ、光センサ、距離センサ、LED、および電源回路等の使用方法を学びます。				
< 8月 9日 (火) 11:10~12:40 >				
第2講: 「基本プログラム」 超小型コンピュータmicro:bitを通常のプログラミング言語より容易に学べるMake Codeにてプログラミングの基本を学びます。				
< 8月 9日 (火) 13:20~14:50 >				
第3講: 「ロボット制御プログラム」 Make Codeにてロボットの制御プログラムを学びます。各センサからの入力処理、モータの制御プログラムを学びます。				
< 8月 9日 (火) 15:00~16:30 >				
第4講: 「無線コントローラを用いてのロボット制御プログラム」 Make Codeにて無線コントローラ (スマートフォン予定) を用いてロボットを制御するプログラムを学びます。コントローラがスマートフォンの場合は、ロボット側のみのプログラムを作成します。				
その他	8/9 (火) は昼食を持参ください。(昼食時間 12:40~13:20)			
テキスト	自作テキストを使用			
参考文献				
関連科目				
開講日時	8/9 (火)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	秋田職業能力開発短期大学校 304教室/306教室 住所: 大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)			
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 電話: 0186-42-5600 (平日9:00~17:00) E-mail: akita-college03@jeed.go.jp			

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[62] 金属加工入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生産技術科 講師 菖蒲 大樹 (計1名)
授業概要	金属の切削加工に必要な基礎的な内容を学びます。基礎的な図面の規則を学んだ後、工作機械の概要や部品の寸法などを測定するための各種測定器などの使い方などを学びます。		
授業方法と留意点	実際に金属が切削される様子を体験し、金属加工がどのようなものなのかを知っていただくことに重点を置いて授業を行っていきます。金属加工を全く知らない方でも大丈夫な内容で行う予定です。特に安全に留意して行います。		
授 業 計 画			
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります			
< 8月 5日 (金) 10:30~12:00 >			
第1講：「図面の読み方、各種工作機械の概要」			
実際の部品を見ながら、図面を読解するための基礎的な製図規則を学びます。また、工作機械の種類やそれぞれの特徴などを実際の機械を見ながら学びます。			
< 8月 5日 (金) 13:00~14:30 >			
第2講：「切削加工」			
実際に金属を切削します。その中で、各種測定器など使い方や金属加工の理論を学びます。			
その他	8/5 (金) は昼食を持参ください。(昼食時間 12:00~13:00)		
テキスト	自作テキストを使用		
参考文献			
関連科目			
開講日時	8/5 (金)		
	10:30~12:00	13:00~14:30	
会場	秋田職業能力開発短期大学校 209教室 住所：大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 電話：0186-42-5600 (平日9:00~17:00) E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		